名前	実父 実母	続柄	順	姓名	字・幼名・号他	役職・家業	給禄	藩主	享年	生年月日 没年月日	屋敷・居住地 備考	墓地	出典
佐伯家			①	佐伯 景政	弥三右衛門	持弓	15	1~3	93				[譜]
	某女									1700 元禄13年6月8日	寛永年中出仕/延宝某年隠居		
	佐伯某 某女	＊	②	佐伯 景知	与右衛門 弥次右衛門	持弓	15	3~5	74				[譜][註4]
										1730 享保15年2月29日	寛文某年養子/享保14年隠居		
	福谷善左衛門 岡村某女	＊二男	③	佐伯 知常	善之丞 善兵衛	持弓/算用役	15	5~6	60				[譜]
										1764 明和元年8月11日	享保14年家督		
	佐伯知常 佐伯景知女	長男	④	佐伯 景平	七左衛門	持弓/算用役	15	7~8					[譜][註4]
											明和元年10月3日家督/享和元年10月20日隠居		
	佐伯景平 上村高杉治左衛門女	長男	⑤	佐伯 門慶	彦太夫 平助	持弓/算用役	15	8~9					[譜][註4]
											享和元年10月20日家督/天保11年2月5日隠居		
	佐伯景平 上村高杉治左衛門女	三男	—	佐伯 春秀	→①佐伯春秀	持弓	15	8~9					[譜]
	井村義忠 寺田光助貞褒女	＊二男	⑥	佐伯 景行	和兵衛 幸吉	徒士/算用役	20	9	47				[譜]
										1859 安政6年10月16日	天保10年10月23日養子		
	佐伯春秀 某女	＊二男	⑦	佐伯 景略 ☆	弥四郎 蔵之進	持弓後下士下等/算用役	切15後15→4.7	9					[譜][註4]
										(明治4年32歳 分限帳)	安政6年12月15日家督		
佐伯家	佐伯景平 上村高杉作左衛門女	三男	①	佐伯 春秀	司	持弓	15	8~9					[譜]
	佐伯春秀 某女	長男	②	佐伯 鼎造	惟功 快菴 墓碑刻落/妻霊昭院釋智光善明大姉	中小姓/藩医方延元年出仕 中士下等/山崎隊	25→7.1(M4)	9	61	1829 文政12年1月7日	徳山・金剛寺(R1)		[譜][註1][註4]
										1889 明治22年4月13日	伏見、函館戦争他従軍/第二次長州征伐時、第三病院懲管		
	佐伯春秀 某女	二男	—	佐伯 景略 ☆	→⑦佐伯景略	持弓後下士下等/算用役	切15後15→4.7	9					[譜][註4]
										(明治4年32歳 分限帳)	安政6年佐伯景行家督		
	佐伯春秀 某女	三男	—	佐伯 厚禮	佐伯景略家養育	町方医		9	76	1843 天保14年	加見村		[譜][註1]
										1918 大正7年	第二次長州征伐時、第三病院勤務[註1]		
	佐伯鼎造 佐藤忠左衛門長女いと	長男	③	佐伯 千槇				9				徳山・金剛寺(R1)	
										(明治4年7歳 分限帳)			
	佐伯鼎造 佐藤忠左衛門長女いと	二男	—	佐伯 荒雄				—					
										(明治4年4歳 分限帳)			
		＊	—	佐伯 末治	佐伯厚禮養孫			—					
			—	佐伯 隆資				—					
	佐伯隆資	長女	—	佐伯 美子	温良院釋如月美妙大姉 婿金沢藩士原康治郎 4男1女あり			—	34	1891 明治24年6月29日	徳山生まれ	徳山・金剛寺(R1)碑文あり	
										1924 大正13年3月21日			
			○	佐伯 文雄	光蓮院釋秋水芳心居士			—				徳山・金剛寺(R1)	
佐伯家			○	佐伯 修理		神上大明神社神主 (元文2年)		5			富田上村		
											神上大明神神社有懸り書		[防長寺社由来]
佐伯家			○	佐伯 正輔		初代村会議員/第二代村長 県庁用掛/地租改正委員		—				徳山・市営北山(H30)	[註1][註4][註14]
										1899 明治32年2月23日	明治11年旧徳山藩慣行税法を政府に報告/公共社設立		
佐伯家			○	佐伯 美敬		山崎八幡宮祠官		9	90	1821 文政4年9月21日		山崎八幡宮に奉碑あり	[註11]
										1910 明治43年2月	黒神直民、近藤芳樹らに師事/明月会会員		[翰墨一架]
佐伯家			○	佐伯 正誉		神官/寺小屋		宗藩			小畑村		[註5]
											寺小屋読書算術習字慶応元年 明治5年男30女10		[徳山市教育の歩み]
佐伯家			①	佐伯 三蔵			3.6(明治4年)	9			福川村		
										(明治5年32歳 分限帳)			
佐伯家			①	佐伯 千代蔵			1.8(明治4年)	9			福川村		
										(明治4年 分限帳)			
佐伯家			①	佐伯 梅蔵			1.8(明治4年)	9			福川村		
										(明治4年 分限帳)			
佐伯家			○	佐伯 義友	三保三 遺族:甥佐伯万蔵福川町[註4]	山崎隊/農民		9	29	1841 天保12年	福川村	桧山護国神社/永源山	[註4][註5][註8][註10]
										1869 明治2年4月11日	函館戦争茂草村の役戦死		[山崎隊日記]
佐伯屋			○	佐伯屋 直助				9					[註1][註4]
											元制産万金銭請払[明治7年谷城礼蔵 徳山毛利家文庫]		
佐伯家断			断絶	佐伯 藤左衛門		中小姓	25二扶持	3					[註4]
斉藤家断			断絶	斉藤 九左衛門			20	1					[註4]
斉藤家断			断絶	斉藤 神右衛門			20	1					[註4]
斉藤家			○	斉藤 利左衛門		作事方/大工	一扶持 永代苗字	7			徳山新町		[註4]
											献納並び御賞美(寛政8年記載)		[御領町人御仕成]
斉藤家			①	斉藤 愛吉		船手組	4.7	9					
										(明治4年49歳 分限帳)			
	斉藤愛吉	嫡子	○	斉藤 松太郎	松次郎			9					
										(明治4年17歳 分限帳)			
	斉藤愛吉	二男	—	斉藤 亀太郎	亀吉			9					
										(明治4年14歳 分限帳)			
	斉藤愛吉	三男	—	斉藤 次郎蔵				9					
										(明治4年10歳 分限帳)			
	斉藤愛吉	四男	—	斉藤 浅三郎				9					
										(明治4年8歳 分限帳)			
	斉藤愛吉	五男	—	斉藤 瀧蔵				—					
										(明治4年2歳 分限帳)			
西藤家			○	西藤 等閑[註1]	西藤等聞[註14][徳山市教育の歩み] (orにしふじ)	僧侶/寺小屋(読書習字)		9			粭島		[註1][註5][註14]
											寺小屋明治元年6月～男18女5		[徳山市教育の歩み]
才布屋			○	才布屋 菊之丞		町人/遠石祭市入札		8					[註4]
財満家			○	財満 和助		都濃郡小畑村戸長 (明治12年)		9			都濃郡小畑村		[註4]

(新見家) 坂家	片山七右衛門宗善 備後国宮士兵衛忠重女	嗣子	①	新見 直重	七右衛門	徒士	20	1~3	66	1690	元禄3年7月15日	奉公以前桂美作育/寛永末期出仕/天和年中改姓新見		[譜]
	新見直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	長男	②	坂 経之	七右衛門	中小姓	25	3~5	86	1742	寛保2年10月2日	東端町西側自北10番 元禄3年家督/正徳4年改姓坂/元文3年隠居	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	二男	—	坂 常政	→安田常正	馬廻	75	3~5	85	1747	延享4年9月10日	元禄7年安田保包家督/德山藩再興功労者		[譜][註1][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	三男	—	坂 勝之	→岡勝之	中小姓	35	2~3	37	1705	宝永2年10月21日	延宝7年岡宗運養子		[譜]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	四男	—	坂 昌之	喜右衛門 一斎	新知別家/茶道		2				延宝8年出仕		[譜]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	五男	—	坂 宗重	→岡宗重	馬廻	60	2~5	61	1733	享保18年5月21日	東端町西側自北13番 貞享元年岡宗増養子家督		[譜][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	六男	—	坂 経重	弥七 弥八郎	新知別家/徒士/祐筆	20	3~5		1756	宝暦6年2月15日	元禄3年出仕/嗣子傳蔵宝暦3年死去養子無く断絶		[譜]
	坂経之 近藤小三郎女	長男	③	坂 経正	傳兵衛 長助	中小姓	25	5~7	72	1773	安永2年2月9日	元文3年家督/明和8年隠居	大迫田一族墓所(R1)	[譜]
	坂経之 近藤小三郎女	二男	—	坂 経忠	→①坂経忠	新知別家/中小姓	25	5	38	1755	宝暦5年2月23日	東中町東側2番 下東横町西南側1番	德山・福田寺(R3) 元文3年出仕	[譜]
	増見直周 德山町道源市右衛門女	＊三男	④	坂 経美	冨右衛門 団蔵 傳兵衛 子善 大忠了義居士	中小姓	25	7~8	66	1800	寛政12年3月4日	宝暦6年養子/算術/福田寺墓地碑文鑑泉撰[註8]本正寺移設	大迫田本正寺(R1)	[譜][註8]
	坂経美 河内村清木七蔵女	長男	⑤	坂 経孝	七右衛門 長助	中小姓	25	8	48	1813	文化10年4月2日	寛政12年家督	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4]
	坂傳兵衛経美 河内村清木七蔵女	三男	—	坂 茂昌	→浅井茂昌	中小姓	25	8~9	61	1841	天保12年正月23日	寛政8年浅井茂文養子		[譜][註4]
	坂経孝 西教寺養女中山伴七女	長男	⑥	坂 経智	傳四郎 来助	馬廻	50	8~9	46	1841	天保12年9月29日	文化10年家督/天保2年(1831)藩営浜崎浦開作築立掛	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4][註14]
	坂七右衛門経孝 河内村清木十郎女	二男	—	坂 熊次郎	→竹村正央	馬廻	50	8~9	59	1862	文久2年10月25日	新丁 文化9年竹村正普養子		[譜][註4]
	坂経智 峠市友森善蔵女	長男	⑦	坂 経敏	傳 七三郎	中小姓	25	9				一番丁 天保12年家督	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4]
	坂経智 峠市友森善蔵女	二男	⑧	坂 登		中士下等	25→10.2(M4)	9		(明治4年47歳 分限帳)		明治3年譜録提出	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4]
	坂経智 峠市友森善蔵女	三男	—	坂 経明 ☆	範次郎			9		(明治3年31歳 人員録)		文久年中京都、江戸へ	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4]
坂家			①	坂 英之進		上士粟屋瑄太郎家来		9		(明治3年28歳 人員録)				
坂家			①	坂 周吉		上士粟屋瑄太郎家来		9		(明治3年30歳 人員録)				
坂家	毛利親茂	遠祖	○	坂 匡時	宮内少輔大膳大夫従五位下 (毛利元春弟)			—						[註10]
	坂経之 近藤小三郎女	二男	①	坂 経忠	右内 右平 家運常仙居士	中小姓	25	5	38	1755	宝暦5年2月23日	東中町東側2番 下東横町西南側1番	德山・福田寺(R3) 元文3年出仕	[譜]
	安田七兵衛常政 遠石嶮部某女	＊三男	②	坂 忠效	常光 万七 李右衛門 義山常光信士	中小姓	25	5~6	33	1758	宝暦8年3月26日	宝暦5年養子	德山・福田寺(R3)	[譜]
	浅海甚兵衛直常 浅海某女	＊二男	③	坂 和敬	金治 音七 知敬 仲礼 和卿 西山 (妻増野松伯昌行妹)	中小姓/文学者	25	6~7	34	1778	安永7年8月21日	鐘楼町東側3番 本城紫厳門下/碑文長門山根泰徳(南溟)選/西山遺稿	德山・福田寺[註8]	[譜][註1][註5][註8][註9相違] [註11][註14][碑文全文註5]
	安田七兵衛保郷 宍戸亘豊忠女	＊四男	④	坂 保言	又七 貢 賢治 實應院義峯永秀居士	中小姓	25	7~8	56	1818	文政元年8月23日	安永7年養子/妻智應院實顔妙諦大姉文政11年正月卒	德山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂保言 梅地源吾信英妹	長男	⑤	坂 保親	展之進 保展	中小姓/八代代官[註10]	25	8~9	83	(明治4年75歳 分限帳) 1879	明治12年6月24日	鐘楼堂丁 文政元年家督	德山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂保言 梅地源吾信英妹	三男	—	坂 諒信	→原田諒信	中小姓	25	9				鐘楼丁西側自南2番 天保2年原田静信跡家督		[譜]
	坂保言 梅地源吾信美妹	四男	—	坂 表教	→山田表教	中小姓	25	9				嘉永元年山田俊平正貞養子		[譜][註4]
	坂保親 宮崎嚴貞長叔母	長男	⑥	坂 幹 ☆	健之丞(進) 虎之丞 知沃 快楽院温良忠幹居士	中士下等 養種製造業者(明治8年～)	25→10.2(M4)	9	66	(明治4年36歳 分限帳) 1901	明治34年9月16日	銃陣師範/明治3年譜録提出	德山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4]
			—	坂 勲	良晶院誠忠大勲居士	騎兵少佐	従五位勲五等	9	44	1877 1920	明治10年3月27日 大正9年9月3日	妻島本たか清淑院誠室妙高大姉明治22年1月11日生	德山・福田寺(R3)	
	坂幹	長男	⑦	坂 初枝		陸軍少将/従四位勲三等		—		1873 (墓碑刻印無し)	明治6年4月5日	日清日露戦争従軍/広島歩兵41連隊	德山・福田寺(R3)	[註10]
堺屋			○	堺屋 清左衛門		用達商人		3				大阪蔵屋敷役人と5ケ年契約(元禄8年1695)		[註1][註4]
堺屋			○	境屋 伊三郎		町人		8				福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
坂田家	某女		①	坂田 正勝	藤左衛門		30	1		1676	延宝4年9月14日	承応年中出仕	大迫田本正寺一族あり	[譜]
	坂田正勝 某女	長男	②	坂田 正方	三左衛門	馬廻	50	1~3		1696	元禄9年9月17日	延宝4年家督		[譜][註4]
	津田氏 坂田正方女	＊	③	坂田 忠直	源太夫	馬廻	50	3~5	70	1731	享保16年正月23日	津田右門屋敷跡 東町東側自北2番	元禄9年家督/享保9年隠居	[譜][註4]
	中川舎人隆重 桂民部隆忠女	＊三男	④	坂田 忠成	忠兵衛 源助	馬廻	50	5~7	73	1765	明和2年正月20日	東中町下横町北側自西1番 享保7年養子同9年家督/宝暦元年咎隠居		[譜]
	坂田忠成 須万村仲子屋李右衛門女	長男	⑤	坂田 忠政	園右衛門 藤蔵 甚兵衛	馬廻	50	5~8	66	1798	寛政10年6月20日	宝暦元年家督/寛政6年隠居		[譜][註4]
	坂田忠成 須万村仲子屋李右衛門女	二男	—	坂田 忠常	乗助			6~				宝暦13年12月長崎七郎左衛門正昭子分		[譜]
	児玉七郎左衛門忠恒 四熊村山本小兵衛女	＊二男	⑥	坂田 忠文	右源次 園右衛門	馬廻	50	7~9	79	1843	天保14年正月12日	寛政6年家督/文化11年隠居		[譜]
	鹿野勝間田久左衛門道兼 鹿野原田藤左衛門森房女	＊二男	⑦	坂田 忠友	亀五郎	馬廻	50	8	25	1818	文政元年正月25日	文化12年家督		[譜]
	玉井宅之進忠道 玉井嘉兵衛一貫女	＊二男	⑧	坂田 惟愷	穡(かなえ) 峯次郎	馬廻	50	8~9	57	1856	安政3年6月20日	二番丁 文政元年家督		[譜]

	坂田惟愷 原田譲輔静文妹	嗣子	⑨	坂田 輔観	紀之丞 明敬 方強 光 正光 秋水 薬斎	馬廻後中士上等 先鋒隊斥候[在城日記]	50→14.1(M4)	9	61	1831 1891	天保2年8月 明治24年10月	戸田村 安政3年家督/殉難 七士調役/萩の乱贋し獄	大迫田本正寺(H30)	[譜][註1][註4][註11][註14] (明治3年譜録提出)
	坂田輔観 金子藤右衛門長謙女?	長男	—	坂田 外守				9			(明治4年6歳 分限帳)			
	坂田輔観	二男	—	坂田 文庫				—			(明治4年3歳 分限帳)			
			⑩	坂田 慎介				—						
			○	坂田 正賛				—					大迫田本正寺(S26建立)	
坂田家			○	坂田 虎賛	得山	校長		—				戸田 教職30余年		[翰墨一架]
坂田家			○	坂田 他之丞				9				詩文『瀟洒会』同人(嘉永5、6年頃)		[註1]
坂田家			○	坂田 彦兵衛		堅田家家臣 寺小屋(＊習字)		宗藩				戸田村 ～明治2年閉鎖[註5]＊明治2年～男32女8		[註5][註14] ＊[徳山市教育の歩み]
坂田家			○	坂田 晋作		堅田家家臣 寺小屋(読書算術)		宗藩				戸田村 寺小屋明治3年3月 6年1月[註5]30女10		[註5][註14] ＊[徳山市教育の歩み]
坂本家	江戸坂本小左衛門 某女	＊	①	坂本 通貞	善左衛門 妻(盛岩院(千代松丸)乳付)	中小姓	五扶持銀十枚	1~3		1695	元禄8年6月19日	妻・福田寺(R3) 寛文年中出仕/妻梅陽不寒信女宝永5年12.17		[譜] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	坂本通貞 坂本某女	二男	②	坂本 通和	善左衛門	中小姓	45	3~5	65	1738	元文3年12月21日	父通貞元禄4年隠居に付家督	坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂本通和 松岡懋左衛門政直女	二男	③	坂本 正芳	左内 善五郎	馬廻	50	5~7	84	1797	寛政9年7月29日	勢屯西町自東1番北向 元文4年家督/妻・雪山素白大姉安永7年11月11日卒	妻・福田寺(R3)	[譜]
	坂本正芳 吉原弥一右衛門宣見女	長男	④	坂本 正種	善次郎	馬廻	50	7~8	42	1808	文化5年5月晦日	父正芳寛政元年隠居に付家督	坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜]
	坂本正種 磯部際左衛門増章女	長男	⑤	坂本 正則	直江 幾江	中小姓	40	8	30	1821	文政4年6月11日	文化5年家督	坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂本正種 磯部際右衛門増章女	二男	—	坂本 八十次郎	→吉原宣正	中小姓	27.454	8	40	1833	天保4年4月5日	享和元年吉原弥一右衛門宣方養子	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂本正種 磯部際左衛門増章女	＊三男	⑥	坂本 正孝	左内 小三郎 潤吉 国衛	中小姓	40	8~9			(明治3年72歳 人員録)	二番丁 文政4年家督	坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂本正孝 平田村田中吉右衛門女	長男	⑦	坂本 正温 ☆	策馬	中士下等 藩知事時代廳掌	40→11.3(M4)	9			(明治4年35歳 分限帳)	明治3年譜録提出	坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜][註4]
	坂本正孝 平田村田中吉右衛門女	二男	—	坂本 正綽	小次郎			9					坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜]
	坂本正孝 平田村田中吉右衛門女	三男	—	坂本 正友 ☆	友七郎 芟人			9			(明治3年27歳 人員録)		坂本家之墓・福田寺(R3)	[譜][註4]
			○	坂本 文男				—				坂本家之墓昭和45年12月建立	坂本家之墓・福田寺(R3) 徳山・福田寺(R3)	
﨑重家			①	﨑重 浪之進			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	大藤谷村		
先山家	松田武右衛門直之	嗣子	○	松田 直俊	武右衛門			—						[譜]
	松田直俊	嗣子	○	松田 直重	助右衛門			—						[譜]
	松田直重	嗣子	○	松田 直保	助三郎			—						[譜]
	松田助三郎直保 黒神某女	長男	①	先山 直慶	丹助 利助 傳兵衛 丹蔵 享保2年松田・享保4年先山改姓	馬廻	50	3	60余	1732	享保17年12月26日	堀田直右衛門跡西町東自北5番 宝永4年出仕/小笠原流礼式達人	大迫田本正寺 (H30)	[譜][註1][註4][註8]
	村上藤左衛門 某女	＊二男	②	先山 直定	武右衛門	馬廻	50	3~7	77	1783	天明3年9月26日	安永7年隠居/延享元年藩主広豊、小笠原流礼式を授けしむ		[譜][註1]
	先山直定 相川清左衛門直葉女	長男	③	先山 直逸	武右衛門 傳兵衛 丹弥	馬廻	50	7~8	74	1824	文政7年8月9日	池田治太夫屋敷跡東丁東側目上4番西向 安永7年家督/文政4年隠居/小笠原流礼方指南	大迫田本正寺 (H30)	[譜][註1][註4][註5]
	先山直定 相川清左衛門直葉女	二男	—	先山 直道	堅治 香之丞 龍蔵			7						[譜]
	先山直定 相川清左衛門直葉女	三男	—	先山 直亘	→松岡直亘	中小姓 検見検使役/大阪目付役	25	7~8	67	1832	天保3年2月25日	天明6年松岡九郎右衛門直規家督		[譜][註4]
	先山直逸 教学院役観妹	長男	④	先山 直恒	純太 常之進 慶之進	馬廻	50	8	42	1824	文政7年3月7日	文政4年家督/小笠原流礼式師南	大迫田本正寺 (H30)	[譜][註5]
	先山直逸 教学院浄観妹	二男	—	先山 正恪	→堀田正恪	中小姓	25	8	32	1817	文化14年6月10日	文化2年堀田利右衛門正直養子		[譜][註4]
	御座貴章 水津宰正含女	＊長男	⑤	先山 直温	瀧人 瀧之進 (梅坪 凞 公緝 石樵 湖山[註11])	馬廻	50	8~9	70	1877	(明治4年62歳 分限帳) 明治10年 [註11]	篆刻を能くす号他に養浩齋、曦[註11]		[譜][註11]
	浅見甚助正保 児玉斎宮忠順女	＊長男	⑥	先山 直包	平五郎 武右衛門 浅見栄三郎正欽義弟	馬廻	50	9	70	1886	(明治4年55歳 分限帳) 明治19年11月8日	三番丁 直温天保12年隠居に付家督/文久4年譜録提出	大迫田本正寺 (H30)	[譜][註4][註8]
	先山直包 先山直恒女	長男	戦死	先山 直倫	倫之丞 倫之助 倫太郎[註16] 義徹院忠山日勇居士	御楯隊		9	不詳 [註5]	1864	元治元年7月19日	京都霊山/大迫田本正寺 (H30) 禁門の変にて戦死/富田護国神社石碑(先山倫之丞直倫神霊)		[譜][註5][註8][註10][註14][註16] [註16]
	先山直包 先山直恒女	二男	—	先山 方俶 ☆	駿之進			9						[譜][註4]
	先山直包	嗣子	⑦	先山 兢作		中士上等	50→14.1(M4)	9			(明治4年26歳 分限帳)	明治2年家督[分限帳]		[註4]
	先山直包	嗣子	—	先山 直方	源道院直方居士 夫婦の墓・妻昭和18年11月29日没			9		1898	明治31年6月29日	『家職方日記』兄倫之丞とありM12.6.19	大成寺共同墓地(H30)	
			○	先山 駒雄				—				昭和11年直倫の遺族として名あり(徳山市役所)		
佐久間家	熊谷隆重 熊谷直詮女	長男	①	佐久間 隆兼	清兵衛	宗藩	130	宗藩				父隆重徳山藩へ隆廉130石譲受萩へ残る		[譜]
	熊谷隆政 新藤五郎右衛門政利女	＊長男	②	熊谷 隆次	勘兵衛 左門	宗藩		宗藩						[譜]
	熊谷伯耆守隆重 熊谷直詮女	＊四男	①	佐久間 政胤	清右衛門	藩士	30	1	70	1672	寛文12年2月19日	下本町西側自南2番 元和元年父より30石譲り受け出仕		[譜]

佐久間家 （能公家）	熊谷将監隆政 蔡家来新藤五郎右衛門政利女	＊五男	②	佐久間 政勝	三左衛門 太郎兵衛	馬廻	50	1~3	58	1699	元禄12年12月17日	馬場北側自西1番 某年養子/元禄12年隠居		[譜][註4]
	伊藤八左衛門宗勝 熊谷隆連女	＊二男	③	佐久間 政庸	三左衛門 三太夫 清右衛門	近習(元禄年中)/馬廻	80	3~5	61	1735	享保20年7月20日	元禄12年家督/享保14年断絶		[譜]
	佐久間政庸 兼重喜右衛門女	二男	④	熊谷 直堅	團治 左源太 左門	中小姓	25	5~8	87	1809	文化6年7月25日	大多和如助屋敷跡 東片側丁自西2番南向	文化6年正月再興	[譜][註1]
	熊谷四郎左衛門壽敷 桜井権之助嘉貞妹	＊二男	断絶	熊谷 直忠	恒之助 直唯 團治 八十之進 直行[註1]	中小姓/馬術取立世話方 起倒流柔術指南	25	8~9				上御弓丁(片側丁北側西1番) 文化6年家督/大保14年譜録提出/安政3年養子切腹断絶	徳山・八正寺[註8]	[譜][註1][註4][註5][註8]
桜井家	桜井安房守信純(舛) 某女	長男	○	桜井 信﨑	筑後守 三郎太郎 (妻武田繁信女)			武田		1525	大永5年6月12日	武田信虎家来父信舛共討死		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井安房守信純(舛) 桜井信佐	＊二男	○	桜井 信佐	與次郎 與助右衛門尉 新左衛門尉 三郎次郎 與惣右衛門尉			元就				備中猿掛城、大内家毛利家ニ加勢頼、同戦討死		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
		三男	○	桜井 元岸	筑後 善四郎			輝元		1624	寛永元年8月7日	阿武郡紫福村被仰付 戦功多く、末期の際輝元公元岸宅へ御下被遊頭ヲ御撫被遊落涙		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元岸 某女	長男	—	桜井 元通	助右衛門尉 光雄 宗次郎 惣二郎 島野是定実父		60 美祢郡鍾村	宗藩		1655	承応4年3月20日	阿武郡紫福村被仰付後萩	阿武郡紫福村佛母寺(位牌	[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井筑後元岸 某女	二男	①	桜井 隆保	新左(右)衛門 行尊	馬廻	200	1	80	1639	寛永16年11月2日	本町西側自北5番		[譜][註4] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元岸 某氏	三男	—	桜井 隆嘉	→①桜井隆嘉	馬廻	100	1	42	1604 1645	慶長9年 正保2年5月7日	本町西側自北3番 元和年中就隆公分地之節随従/下松屋敷野上村所替願出	下松にて死去	[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井隆保 某女	長男	②	桜井 雄清	八郎兵衛 右兵衛	馬廻	一時断絶	1	28	1645	正保2年6月10日	寛永年中家督/正保3年断絶		[譜]
	桜井隆保 某女	＊二男	③	桜井 隆雄	新左衛門 小之助 勘左衛門	馬廻	100	1~3	72	1695	元禄8年11月23日	某年再興/元禄3年隠居		[譜]
	桜井隆雄 萩家来水津某女	長男	④	桜井 雄度	新左(右)衛門	馬廻	150	1~3	60	1716	享保元年4月25日	元禄3年家督/正徳3年隠居		[譜]
	桜井隆雄 萩家来水津某女	二男	—	桜井 雄政	→①桜井雄政	別家(貞享元年)中小姓		2~3						[譜]
	桜井隆雄 萩家来水津某女	三男	—	桜井 雄則	→①桜井雄則	別家(貞享2年)中小姓		2~3						[譜]
	桜井隆雄 萩家来水津某女	四男	断絶	桜井 弥次右衛門		別家(元禄年中)中小姓	25	3						[譜][註4]
	桜井隆雄 萩家来水津某女	五男	—	桜井 雄重	兄戸右衛門雄則養子→②桜井雄重	中小姓		3~5						[譜]
	桜井雄度 大野弥一兵衛直次女	長男	⑤	桜井 豊雄	新左衛門 新右衛門 雄瑞 左源太	馬廻	180	3~5	42	1736	元文元年11月8日	正徳3年家督		[譜][註4]
	桜井豊雄 粟屋権太夫忠直女	長男	⑥	桜井 馴雄	新右衛門 雄正 左源太 (妻岩崎智方女/後妻牧直良女)	一代用人	200	5~7	61	1795	寛政7年8月11日	元文元年家督/寛政2年隠居/妻文化13年2月21日卒		[譜]
	桜井宇右衛門雄好 温見村田村与一右衛門女	＊長男	⑦	桜井 壽信	栄助 比面 清次郎 文水 雄信 雄前 新右衛門 子好[註11]	一代用人/詩人	200	7~9	84	1848	嘉永元年6月13日	画を内田玄對師事(江戸)/居を仙源亭	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4][註11][註16]
	桜井宇右衛門雄好 温見村田村与一右衛門女	五男	—	桜井 郷光	才助 (桜井雄信養弟[譜])			8				寛政9年5月10日桜井雄信養弟願		[譜]
	宍戸彦左衛門忠皓 桜井馴雄女	＊二男	⑧	桜井 雄忠	竿三郎 新右衛門 (＊妻福間政述妹郁子露月孫蕃香)	馬廻・町奉行(天保2年)	180	7~9	74	1856	安政3年8月24日	文化5年養子/文政3年家督/天保5年隠居		[譜][註1] ＊[鶯堂遺稿補遺]
	福間正利政景 福間政栄女	二女	—	桜井 露月	郁子 桜井雄忠妻 光臺院釈唯願妙教大姉	歌人		8~9		1842	天保13年正月17日		徳山・金剛寺	[註5][註16]
	小川新助 桜井宇右衛門雄好女	＊二男	⑨	桜井 篤連	廉 廉吉 聯之助 新左衛門 廉之助 聯 雄聯 連左衛門 還喬斎 幽谷 東里	一代用人	200	8~9	38	1811 1848	文化8年7月25日 嘉永元年8月6日	天保3年養子同5年家督/天保9年代官役廃し以前の郡代役任命	徳山・福田寺(R3)碑文あり	[譜][註14][註16]
	桜井篤連 桜井壽信女雄忠養女	長男	⑩	桜井 雄雋	雄之 龍右衛門 龍雄 香織 蕃香 ＊妻サタ天保12.7.9生	馬廻/側用人後中士上等 東京在勤家扶/毛利元秀家令	200後70	9		1839 (明治3年32歳 人員録)	＊天保10年9月19日	本丁 嘉永元年家督/慶応元年6月宗藩より藩内一和の勧告の席へ		[譜][註1][註4][註16] (明治3年譜録提出)
	この項[註1]			桜井 新右衛門	数(ママ)右衛門[註1P714] 桜井家第10代龍右衛門雄雋	用人		9				数(ママ)右衛門、禁門の変後、事態収拾の為宇和島藩へ 慶応元年3月12日名代元功に従い宗藩主敬親の山口へ		[宇和島藩史料他龍右衛門] [註1P716 717]
	桜井雄雋 蔡家来熊野源右衛門之光女	長男	⑪	桜井 玉江	＊玉衛			—		1864 (明治3年7歳 人員録)	＊元治元年正月14日	＊明治24年芝区高輪南毛利元功邸より蕃香一家徳山村復籍		＊[願届控東京毛利家文書]
	桜井雄雋 蔡家来熊野源右衛門之光女	二男	—	桜井 錦之介				—		(明治3年3歳 人員録)				
	桜井雄雋 蔡家来熊野源右衛門之光女	三男	—	＊桜井 健彦	＊桜井雄雋四男□雄明治10.1.10日生 ＊同五男里衛M12生同六男行雄M15生			—		1874	＊明治7年1月12日			＊[願届控東京毛利家文書]
	桜井雄雋 蔡家来熊野源右衛門之光女	長女	—	長尾 郁子	司法官長尾与吉妻	千里眼事件(念写)		—	41	1871 1911	明治4年10月 明治44年2月26日肺炎	徳山生まれ/丸亀にて死去 影響者御船千鶴子TV下ラマ(平成12-)トリックシーズン1-8話、3-5話 明治44年1月自殺24歳		[福来友吉関係書物]
桜井家			○	桜井 光遠	(桜井壽信か)			8				万国図(世界地図)画(天保6年)		[周南風土記写真集]
桜井家	桜井安房守信純(舛) 某女	長男	○	桜井 信﨑	筑後守 三郎太郎 (妻武田繁信女)			武田		1525	大永5年6月12日	武田信虎家来父信舛共討死		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井安房守信純(舛) 桜井信佐	＊二男	○	桜井 信佐	與次郎 與助右衛門尉 新左衛門尉 三郎次郎 與惣右衛門尉			元就				備中猿掛城、大内家毛利家ニ加勢頼、同戦討死		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
		三男	○	桜井 元岸	筑後 善四郎			輝元		1624	寛永元年8月7日	阿武郡紫福村被仰付 戦功多く、末期の際輝元公元岸宅へ御下被遊頭ヲ御撫被遊落涙		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元岸 某氏	三男	①	桜井 隆嘉	少(小)兵衛 思次郎 七兵衛 権之助 法名教尊	馬廻/就隆公近習	100	1	42	1604 1645	慶長9年 正保2年5月7日	本町西側自北3番 元和年中就隆公分地之節随従/下松屋敷野上村所替願出	下松にて死去	[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井隆嘉 山岸清左衛門正明女	長男	②	桜井 隆治	甚太夫 伊勢菊 半助	馬廻	200	1~3	70	1704	宝永元年7月28日	正保2年家督/甚太夫、寛文5年評定役延宝5年郡代[註1]		[譜][註1]
	桜井隆嘉 某女	二男	—	桜井 嘉明	五左衛門	新知別家		1頃						[譜]
	桜井隆治 某女	長男	③	桜井 堯義	甚太夫 政義 三郎次 徳左衛門 孫八(江戸にて養子)	出頭	200	3~5	72	1724	享保9年11月21日	父隆治元禄5年隠居に付家督		[譜][註4]
	桜井隆治 某女	二男	—	桜井 信了	三左衛門	別家		3頃				某年永暇		[譜]
	桜井堯義 坂木清水市兵衛正知女	長男	④	桜井 嘉雄	甚太夫 嘉治 甚九郎 少兵衛 無為軒 (江戸にて養子)	馬廻	200	5	53	1754	宝暦4年2月朔日	近藤郡太夫屋敷跡東中町西側自北7番 享保10年家督/延享2年[ママ]隠居		[譜]
	桜井嘉雄 桜井三左衛門信了女	長男	⑤	桜井 馴政	甚太夫 貞幹 嘉忠 伊勢菊 孫八 自方 自保(江戸にて養子)	一代用人	200	5~7	64	1790	寛政2年12月7日	本町西側自北3番 寛延2年[ママ]家督/天明3年隠居		[譜]

	桜井甚太夫馴政 熊谷勘右衛門豊直女	二男	⑥	桜井 壽禮	甚太夫 権之助 孫八 子幹 嘉貞 嘉禮 三郎次郎(於江戸)	一代用人	200	7~8	60	1816	文化13年4月10日	天明3年家督		[譜][註4][註16]
	桜井甚太夫馴政 熊谷勘右衛門豊直女	三男	一	桜井 喜信	→梅地英信	中小姓	29.59	7~8	67	1827	文政10年8月13日	天明元年梅地十内英宣養子/7代就馴公御納戸役[註9]		[譜][註4][註9]
	桜井甚太夫馴政 熊谷勘右衛門豊直女	四男	一	桜井 允丞	顕治 乙作 左源太 宗藩高津家養子			宗藩				天明8年美祢郡太田高津源左衛門允中養子		[譜]
	桜井壽禮 熊谷清左衛門直昆女	二男	⑦	桜井 嘉修	権之助 治縣 権之助 孫八 栄三郎 半助 昇 館[註16]	馬廻	200	8	43	1831	天保2年5月8日	文化13年家督/文政8年隠居		[譜][註16]
	桜井壽禮 熊谷清左衛門直昆女	＊五男	⑧	桜井 蕃翼	甚太夫 嘉譲 玉樹 嘉翼 孫八 小兵衛 太行 目渉園一樹幻花居士	馬廻/側用人	200	8~9		(妻元治元年10月2日) 1865	慶応元年10月5日	本丁(一樹) 敏幼少に付文政8年養子家督/役覧景詩社[註]幽蘭社[註]門人	徳山・福田寺(R3)妻墓碑有	[譜][註1][註4][註8][註16]
	桜井嘉修 遠藤近助温之女	＊二男	⑨	桜井 嘉猷	堅(賢)作 徹 栄吉 少兵衛 甚太郎 敏 柳舎	中士上等	70→19.4(M4)	9		(明治4年17歳 分限帳)		安政3年家督/明治2年譜録提出		[譜][註4][註16]
桜井家	桜井隆雄 萩家来水津某女	二男	①	桜井 雄政	新兵衛 政之助	中小姓	25	2~3	50	1714	正徳4年4月13日	貞享元年出仕/元禄年間、江戸番手/正徳2年隠居		[譜]
	桜井雄政 三田尻坪江勘左衛門女	長男	②	桜井 雄澄	新兵衛 竹七 庄之助 (妻天明3年9月25日卒75)	中小姓	25	3~5	41	1735	享保20年6月13日	正徳2年家督/享保20年江戸番手		[譜][註4]
	桜井雄澄 阿武晴兼長兵衛女	長男	③	桜井 雄繁	久兵衛 清五郎	中小姓	25	5				享保20年家督/元文年間、江戸番手/某年隠居		[譜]
	山田荘左衛門勝重 福川町福田彦三女	＊四男	④	桜井 雄教	儀平 儀兵衛	中小姓 各都合役/大阪目付役	25	5~8	84	1815	文化12年正月21日	駕籠奉行役中苦労仕候以上下拝領/宝暦4年養子家督		[譜]
	桜井雄教 生駒三平政顕女	長男	⑤	桜井 雄俊	儀兵衛 平次郎	中小姓/各都合役	25	7~8	46	1837	天保8年6月11日	西ノ丁 父文化5年隠居に付家督/上下、金二百疋拝領/作事奉行		[譜][註4]
	桜井雄俊 福根孝右衛門常至二女	長男	⑥	桜井 武雄	子洗 子光 市之助 儇右衛門 秋園 魁園	組外馬廻/学館訓導役 興譲館四代教授/国書授方	50	8~9	56	1814 1869	文化11年 明治2年4月1日	大迫田金剛寺無縁墓(H30) 拝領物多し/歌人、遺稿[秋園集]//碑文飯田蕃俊竹場		[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
	桜井雄俊 福根孝右衛門常至二女	＊二男	一	桜井 惟孝 ☆	→小川官介☆	中小姓後中士下等/献功隊 初代徳山村会議員(M22)	25→10.2(M4)	9	74	1837 1910	天保8年5月27日 明治43年6月13日	新丁 安政5年養子/学館寮長/金融機関公共社設立委員	北山共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註11][註14][註16]
	桜井武雄 入澤源助盛國女	長男	⑦	桜井 正門 ☆	香太郎 国香 正雄	中士上等	50→14.1(M4)	9		(明治4年25歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4][註8]
桜井家	桜井隆雄 萩家来水津某女	三男	①	桜井 雄則	戸右衛門 傳三郎	中小姓	35三扶持	2~3	40	1715	正徳5年5月3日	西町西側自北9番東向 寛文年中出仕/元禄9年隠居		[譜]
	桜井隆雄 萩領家来水津某女	＊五男	②	桜井 雄重	宇右衛門 道順	中小姓	35	3~5	62	1737	元文2年2月24日	元禄9年家督		[譜][註4]
	中嶋幸右衛門知章 谷忠左衛門祐譚女	＊三男	中継	桜井 貞光	次右衛門 瀧之助	中小姓	35	5				享保20年養子/元文2年家督/処享4年病身に付暇		[譜]
	山田荘左衛門勝重 福川町福田彦三女	＊三男	③	桜井 雄好	宇右衛門 嘉忠太	中小姓	35	5~8	73	1802	享和2年11月15日	処享5年家督/寛政8年隠居		[譜]
	櫻井宇右衛門雄好 温見村田村与一右衛門女	長男	一	桜井 雄信	→桜井壽信	一代用人/詩人	200	7~9	84	1848	嘉永元年6月13日	天明8年本家桜井馴雄養子/画を内田玄對師事(江戸)	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4][註8][註11][註16]
	櫻井宇右衛門雄好 温見村田村与一右衛門女	二男	一	桜井 貞方	→岩崎貞方	馬廻/両人役(寛政)	50	7~8	45	1811	文化8年8月15日	安永9年2月岩崎藤太貞昌家督		[譜][註4] [周南風土記]
	櫻井宇右衛門雄好 温見村田村与一右衛門女	三男	④	桜井 知雄	勇治 茂十郎 佐右衛門 丈右衛門	中小姓	35	8	53	1822	文政5年7月9日	寛政8年家督		[譜][註4]
	櫻井宇右衛門雄好 温見村田村与一右衛門女	四男	一	桜井 勝敬	孫助 (萩家来河村安左衛門盈芥養子)			宗藩				三田尻 天明8年萩家来河村安左衛門盈芥養子		[譜]
	桜井知雄 福根孝右衛門常至長女	長男	中継	桜井 雄直	宇右衛門 宇吉郎 (妻伊藤十七亮明女)	中小姓	35	8~9				文政5年家督/天保11年咎隠居		[譜]
	桜井知雄 福根孝右衛門常至長女	二男	一	桜井 雄俊	五百吉 (萩家来勝山久左衛門某養子)			8				文政3年萩家来□□久左衛門某養子		[譜]
	桜井知雄 福根孝右衛門常至長女	三男	一	桜井 雄要	→楢崎景善	中小姓	25	8~9				二番丁 文政8年栖崎建蔵景治養子		[譜]
	桜井知雄 福根孝右衛門常至長女	四男	⑤	桜井 雄貞	琢磨 信好 計三郎 清二郎 春雄[橙堂遺稿補遺]	中小姓	35	9		(明治4年61歳 分限帳)		西ノ丁 天保11年家督/嘉永7年6月咎筋有一時断絶		[譜]
	桜井雄貞	嗣子	⑥	桜井 雄之	勇治 雄之進 春雄甥[橙堂遺稿補遺]	中小姓→中士下等	25→10.2(M4)	9		(明治4年36歳 分限帳)		安政2年中小姓出仕/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	桜井雄貞	嫡子	一	桜井 華枝	桜井雄之弟			9		(明治4年32歳 分限帳)				[譜]
桜井家			○	桜井 信義	新五郎 ＊義山良秀居士			~5		1735	＊享保20年6月16日		＊徳山・興元寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	桜井安房守信純(舛)	長男	仮①	桜井 信﨑	筑後守 三郎太郎 (妻武田繁信女)			武田		1525	大永5年6月12日	武田信虎家来父信舛共討死		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井安房守信純(舛)	＊二男	仮②	桜井 信佐	與次郎 與助右衛門尉 新左衛門尉 三郎次郎 與惣右衛門尉			元就				備中猿掛城、大内家毛利家ニ加勢頼、同戦討死		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井信佐	長男	一	桜井 元之	與次郎 惣右衛門			元就				長男弥四郎於山口討死/養子忠左衛門尉死亡元之家断絶		[桜井家並朝倉家略系図]
	桜井信佐	二男	一	桜井 元親	藤右衛門尉			元就				元之元親兄弟、陶討人元就隆元公助け高名、討死		[桜井家並朝倉家略系図]
	桜井信佐	三男	仮③	桜井 元岸	筑後 善四郎			輝元		1624	寛永元年8月7日	阿武郡紫福村被仰付 戦功多く、末期の際輝元公元岸宅へ御下被遊頂ア御撫被遊落涙		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元岸 某女	長男	仮④	桜井 元通	助右衛門尉 光雄 宗次郎 惣二郎 鳥野是定実父		60 美祢郡鎌村	宗藩		1655	承応4年3月20日	阿武郡紫福村被仰付後萩 阿武郡紫福村佛母寺(位牌		[桜井家並朝倉家略系図]
(朝倉家) 桜井家	桜井元岸 某女	二男	一	桜井 新右衛門	→①桜井隆保	就隆公分地之節随従	200	1	80	1639	寛永16年11月2日	本町西側自北5番 妻萩家来某女花香院寛永11年8月2日卒萩家来某女	都濃郡山田村卒	[譜][註4] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元岸 某女	三男	一	桜井 隆嘉	→①桜井隆嘉	就隆公分地之節随従	100	1	42	1604 1645	慶長9年 正保2年5月7日	本町西側自北3番 下松屋敷野上村所替願出	下松にて死去	[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元岸 某女	四男	一	桜井 忠兵衛	布施家へ			宗藩						[桜井家並朝倉家略系図]
	桜井元通 渡邊四郎右衛門女	二男	仮⑤	桜井 是定	→①鳥野是定	作事方/表具師	13二扶持	1~3	80	1633 1712	正徳2年5月晦日	外横町北側自西3番 後妻内藤亦右衛門久明女正徳6年5月18日卒		[譜] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井是定 萩内藤又右衛門久明女	長男	仮⑥	桜井 繁経	→①朝倉繁経	細工人/絵師	15二扶持	1~5	74	1668 1741	寛文8年 寛保元年5月29日(墓	馬場外町東側自北1番 享保5年改名/雲谷等如に師事/領内大絵図作成/妻享保20.8.20卒	興元寺→泉原共同墓地(R4)	[譜][註4] [桜井家並朝倉家略系図]
	朝倉繁経 阿武善之丞晴之女	長男	仮⑦	桜井 仁左衛門	→②朝倉友信	細工人/絵師		3~6	61	1700 1760	元禄13年 宝暦10年6月11日	櫛ケ浜死去 妻寛政11年卒/雲谷等全に師事/宝暦8年二男忠次咎断絶	泉原共同墓地(R4)	[譜] [朝倉家文書]

	朝倉友信 八代村徳永瀬左衛門女	長男	仮⑧	桜井 春祥	→③朝倉友明	細工人/絵師	三扶持	5~7	31	1737 1767	元文2年 明和4年7月11日	櫛ケ浜 雲谷等徴に師事/明和3年再興	泉原共同墓地(R4)	[譜][註1][註9] [朝倉家文書]
桜井家	桜井元岸 某女	長男	—	桜井 元通	助右衛門尉 光雄 宗次郎 惣二郎 鳥野是定実父		60 美祢郡鍬村	宗藩				阿武郡紫福村被仰付後萩	阿武郡紫福村佛母寺(位牌	
	乃美豊前元宣	＊三男	①	桜井 就晴	勘兵衛 長九郎 作二郎 十郎衛 桜井元通養子	萩藩寄組		宗藩	48	1655 1622 1669	承応4年3月20日 元和8年 寛文9年7月18日	妻井上忠右衛門元重女		[桜井家並朝倉家略系図] [近世防長諸家系図総覧] [桜井家並朝倉家略系図]
	桜井就晴 井上忠右衛門元重女	長男	②	桜井 祐春	助太夫 権八 平右衛門 妻長野玄恕女	諸郡代官役	100	宗藩	66	1652 1717	承応元年 享保2年5月7日			[桜井家並朝倉家略系図]
	桜井祐春 長野玄恕女	長男	③	桜井 祐茂	権八 勘兵衛 妻長野玄琢女			宗藩						[桜井家並朝倉家略系図]
	桜井祐春 長野玄恕女	二男	—	桜井 祐清	百合亀 三左衛門 忠右衛門 林半右衛門清長養子			宗藩						[桜井家並朝倉家略系図]
	林半右衛門清長	＊二男	④	桜井 茂(姫[女→夫]	惣二郎 忠左衛門			宗藩						[桜井家並朝倉家略系図]
桜屋			○	桜屋 新助		町人	一代上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
佐古家	清水吉右衛門	嫡子	○	佐古 道硯	→清水吉右衛門			3				徳山・尼ケ崎 戸田佐右衛門友人・徳山藩再興功労者		[註1]
佐古家			○	佐古 亀蔵	亀岳玄峰信士			—		1901	明治34年12月11日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
佐々木家	加地傳右衛門直道	嗣子	○	加地 道雅	小兵衛			—				江州佐々木国居住後加地庄居住		[譜]
	加地道雅	嗣子	○	加地 邦宣	覚之丞			—				安永年中佐々木改姓		[譜]
	加地(佐々木)邦宣	女	○	(佐々木) 益井		大殿側仕/老女		8~9				享和2年側仕/天保10年老女/天保13年佐々木家取立		[譜]
	島羽縫殿末家島羽某 今田幾蔵光富姉	＊	①	佐々木 愷護	彦之丞 島羽新作 章左衛門 佑 (大殿様佐々木益井養子仰付)	中小姓/連歌師	35	9			国弘良助屋敷跡鐘楼丁東側自南1番	飯田竹舎正輔門下/天保13年出仕	徳山・福田寺(H30)	[譜][註1][註4]
	井上九郎左衛門栄尚 井上彦兵衛敬茂女	＊五男	②	佐々木 敏雄 ☆	虎之進 璞次郎 守行 桐園 卦護[駐8] 井上唯一兄 仁光院(以下不明)	中士下等/歌人 国学者/国書授方	35→10.2(M4)	9	64	1894	明治27年5月18日	『佐々木桐園詠草』/明倫館に学ぶ/弘化4年養子/安政3年結婚	徳山・福田寺(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註11] [註14](明治3年譜録提出)
	佐々木敏雄 佐々木愷護女(糸子?)	嗣子	③	佐々木 佑	敏雄長男二男早逝[譜] 佐々木三郎太郎[分限帳]			9			(明治4年6歳 分限帳)	佐々木佑夫婦之墓	徳山・福田寺(H30)	[註8]
			○	佐々木 邦宣	泰定院道誉彦山邦宣居士			—				佐々木邦宣夫婦之墓	徳山・福田寺(H30)	
			○	佐々木 忠				—					徳山・福田寺(H30)	
佐々木家			○	佐々木 清兵衛		町年寄格	苗字	7~8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
佐々木家			○	佐々木 次郎四郎		山崎隊		9						[註4]
佐々木家			①	佐々木 芳吉		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年20歳 分限帳)	徳山村鐘撞堂丁		
佐々木家			①	佐々木 多助		岩崎幾太郎組上等		9			(明治3年26歳 人員録)			
佐々木家			①	佐々木 虎熊			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	福川村		
佐々木家			①	佐々木 笹右衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9			(明治4年54歳 分限帳)	徳山村辻		
佐々木家			○	佐々木 勝次郎	懸屋	町人/預札窮方兼手代 木綿買入方		8				文政6年(1823)預札窮方兼手代		[註1][註4][註14]
佐々木家断			断絶	佐々木 半兵衛			25	1						[註4]
佐々木家断			断絶	佐々木 忠左衛門			15	1						[註4]
佐田家			○	佐田 作左衛門				—					市営大迫田墓地(H30)	
			○	佐田 □□				—					市営大迫田墓地(H30)	
			○	佐田 喜左衛門				—					市営大迫田墓地(H30)	
			○	佐田 善平				—					市営大迫田墓地(H30)	
			○	佐田 □助				—					市営大迫田墓地(H30)	
			①	佐田 仙助	仙蔵	河合組上等	4.7	9			(明治4年48歳 分限帳)		市営大迫田墓地(H30)	
	佐田仙助	長男	○	佐田 豊太郎				9			(明治4年11歳 分限帳)			
	佐田仙助	二男	—	佐田 熊二郎	熊次郎			9			(明治4年8歳 分限帳)			
貞助家断			断絶	貞助 三右衛門			25	1						[註4]
貞助(サダスケ)家	玄番頭信清	嗣子	○	因幡守 吉信	因幡守			—				伯州古志村居住		[譜]
	因幡守吉信	嗣子	○	貞助 信貞	清左衛門			—				備後貞助村居住		[譜]
	貞助信貞	嗣子	○	貞助 貞昌	清三郎			—						[譜]
	貞助清三郎貞昌 某女	長男	①	貞助 昌信	貞助 権右衛門 清左衛門	徒士	20	1		1654	承応3年12月31日	元和4年代萩より御供出仕/某年隠居		[譜][註4]
	長松喜助信堅 某女	＊四男	②	貞助 信清	六右衛門	徒士	20	1~2	70余	1690	元禄3年3月15日	鐘楼丁西側自南7番 某年家督		[譜]

	貞助信清 貞助昌信長女	二男	③	古志 信廉	何右衛門[註4] 七右衛門	中小姓	25	3~5	71	1723	享保8年12月9日	元禄3年家督		[譜][註4]
		以下 →古志家												[譜][註1][註4][註14]
属家			○	属 甚右衛門		大工		2				延宝9年興元寺裏門棟札(小工)		[防長寺社由来]
佐藤家	佐藤勘右衛門信光	嗣子	○	佐藤 繁臣	喜内			—						[譜]
	佐藤繁臣	嗣子	○	佐藤 光繁	勘左衛門			—						[譜]
	佐藤光繁 福知山中嶋久兵衛女	長男	①	佐藤 尭信	信行 喜内 繁信 助之進 (毛利元次側室蓮生院弟元堯叔父)	馬廻	200	3~7	73	(妻享和2年3月12日卒) 1766	明和3年6月27日	京都人/横本町南側東1番 宝永6年出仕/奉公以前京都浪人/徳山藩再興功労者		[譜][註1]
	佐藤尭信 和州相羽外記正則女	二男	②	佐藤 忠清	右兵衛 大三郎 嘉内	馬廻	150	5~8	66	1807	文化4年5月29日	摂州平野 延享元年出仕/延享2年一家徳山へ/寛政6年隠居		[譜]
	佐藤尭信 和州相羽外記正則女	三男	—	佐藤 信正	宗蔵 久五郎 辨丸			5~						[譜]
	佐藤尭信 和州相羽外記正則女	四男	—	佐藤 光清	寿朝 與八郎			7頃				明和3年12月医業の為他所願永暇		[譜]
	佐藤忠清 萩領合田吉左衛門女	長男	③	佐藤 寿足	喜内 長卿 紀内 知足 忠敬 三保松 篤 藤原忠篤	一代用人	150	7~8	64	1834	天保5年正月9日	天明3年出仕/寛政6年家督/中島流砲術初の師範(文化7)	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註1][註16]
	佐藤忠清 萩領合田吉左衛門女	三男	—	佐藤 忠明	孫三郎			7		1796	寛政8年8月15日			[譜]
	佐藤忠清 萩領合田吉左衛門女	四男	—	佐藤 邦達	→中川篤俊	一代用人	150	8~9	72	1857	安政4年9月1日	文化6年中川政信養子中島流砲術取立方	徳山・福田寺 [註8]	[譜][註1][註4][註5][註8]
	佐藤寿足 東美濃八温光女	長男	④	佐藤 文襄	三郎太夫 簡 羊之助 三助(介) 震川軒吟誉敬春居士	留守居格	160	8~9	46	1844	天保15年6月7日	父寿足天保4年隠居に付家督/大阪留守居勤務中病死	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4][註8]
	佐藤寿足 東美濃八温光女	三男	—	佐藤 嘉蔵	→飯田舎篤宗			9				文政3年12月飯田代次郎正臣養子		[譜][註8]
	佐藤寿足 東美濃八温光女	六男	—	佐藤 庸蔵	→福間舜欽青海	馬廻/興譲館初代教授	200	8~9	42	1813 1854	文化10年 安政元年9月12日	弘化3年福間正久跡家督	金剛寺墓碑削り累代之墓とす	[譜][註1][註5][註8][註11][註14][註16]
	東藤太護鳳 田中源右衛門久敏女	＊三男	⑤	佐藤 繁保	三郎助 準次 喜内 三郎太夫 蕃枝	中士上等	70→19.4(M4)	9		(明治4年46歳 分限帳)		天保15年8月家督/明治3年譜録提出		[譜][註4][註16]
	佐藤繁保 佐藤文襄女	長男	⑥	佐藤 肇	三保松			9		(明治4年17歳 分限帳)				[譜]
	佐藤繁保 佐藤文襄女	二男	—	佐藤 靄次郎	→東保雄			9		(明治4年10歳 分限帳)				[譜]
佐藤家			○	佐藤 弥三右衛門		作事方	20三扶持	1				吉敷郡山口 芸州より萩へ		[註4]
	佐藤弥三右衛門直治 萩領家来植田太兵衛女	長男	①	佐藤 直清	勘左衛門 弥三郎	徒士/大工棟梁役	20三扶持	1	70	1668	寛文8年7月29日	東中町東側自北10番 元和年代萩より御供出仕/万治年中隠居		[譜]
	佐藤直清 萩領家来藤井助之進女	長男	②	佐藤 清房	六左衛門 忠左衛門	徒士/大工	20三扶持	1~3	79	1703	元禄16年12月28日			[譜]
	萩家来藤井正右衛門直久 柳川太右衛門正則女	＊三男	③	佐藤 直政	弥三右衛門 (一代清房甥)	徒士/大工	20三扶持	3~5	72	1738	元文3年8月25日	清房生存中養子/元禄17年家督/享保19年隠居		[譜][註4]
	佐藤直政 黒神修理直信女	長男	④	佐藤 直房	勘左衛門	徒士/大工/＊作事奉行	20三扶持	5~7	67	1775	安永4年12月2日	享保19年家督		[譜] ＊[防長寺社由来]
	佐藤直政 黒神修理直信女	二男	—	佐藤 清栄	六左衛門			5~						[譜]
	佐藤直政 黒神修理直信女	三男	—	佐藤 時之	正右衛門 (萩領花岡工民佐藤某養子)			宗藩						[譜]
	佐藤直政 黒神修理直信女	四男	—	佐藤 直忠	喜七郎			5~						[譜]
	佐藤時之 某女	＊長男	⑤	佐藤 喜之	勘左衛門 初次郎 六之助	徒士/大工	20三扶持	7~8	72	1832	天保3年6月18日	明和6年養子/安永5年家督		[譜][註4]
	佐藤喜之 富田村河内屋彦七女	長男	—	佐藤 直義	平三郎			8						[譜]
	佐藤喜之 富田村河内屋彦七女	二男	⑥	佐藤 直之	忠左衛門 栄之進 六左衛門 直治	徒士/大工	20三扶持	8~9		(明治4年69歳 分限帳)		二番丁 天保3年家督		[譜][註4]
	佐藤喜之 富田村河内屋彦七女	三男	—	佐藤 直時	吉次郎			8		1835	天保6年4月16日			[譜]
	佐藤喜之 富田村彦七女	四男	—	佐藤 英房	→①佐藤英房	蔵本付後下士下等 藩知事時代史生	切15後15→4.7	9		(明治4年58歳 分限帳)		天保12年絵図方御雇/嘉永7年出仕/嘉永2年國廣家離縁		[譜][註4] (元治元年譜録提出)
	佐藤直之 徳山村光永半兵衛女	三男	⑦	佐藤 弥三郎		営作舎支配	20三扶持→5.7	9		1853 (明治4年19歳 分限帳)	年令から逆算	明治3年譜録提出		[譜][註4]
佐藤家			○	佐藤 直輔	功厳徳應居士			9	68	1853 1920	年令から逆算 大正9年6月6日	妻・徳室貞應大姉大正14年3月19日卒61歳	夫婦之墓福田寺(R3)	[墓碑]
佐藤家	佐藤喜之 富田村彦七女	四男	①	佐藤 英房	千代蔵 勘七 良房 三四郎 彦右衛門 →弘化2年国広英房一時養子	蔵本付後下士下等 藩知事時代史生	切15後15→4.7	9		(明治4年58歳 分限帳)		天保12年絵図方御雇/嘉永7年出仕/嘉永2年國廣家離縁		[譜][註4] (元治元年譜録提出)
	佐藤英房	嫡子	②	佐藤 彦蔵		山崎隊		9		(明治4年24歳 分限帳)				[註4]
佐藤家断			断絶	佐藤 九郎右衛門			20	1						[註4]
佐藤家断			断絶	佐藤 与左衛門			20	1						[註4]
佐藤家断			断絶	佐藤 利左衛門			20	1						[註4]
里村家断			断絶	里村 左五兵衛		蔵本付	15	3						[註4]
佐渡屋			○	佐渡屋 茂右衛門		酒造業		7				徳山村 酒造米高26.334石(天明8年)		[註4]
			○	佐渡屋 市郎右衛門		酒造業		7				徳山村 銘柄「小景酒」「青柳酒」(安永6年)		[註4]

讃岐屋			○	讃岐屋 長左衛門		町人/船持船頭		3.4				富田平野 徳山藩再興に協力		[註1]
佐村家			○	佐村 峰弼		町方医/寺小屋		9				大道理村 寺小屋読書習字慶応3年2月～明治6年7月男15		[註1][註5][註14] [徳山市教育の歩み]
澤家			○	澤 玄祖	(玄祖女中村章房嫁)	医師		8頃				富田村 文政10年4月中村章房嫁天保5年11月卒		[中村家譜録]
澤家			○	澤 立身		医学		8頃				戸田 医師四熊家『見学堂』門人(1800年前後)		[註1]
澤家			①	澤 寿人	熊谷直則養育			9		(明治3年27歳 人員録)				
			○	澤 雪江				9		(明治3年3歳 人員録)				
			○	澤 真哉	澤寿人弟			9		(明治3年24歳 人員録)				
澤家			○	澤 雲龍				—						[有田民雄蔵画帳]
沢重家			①	沢重 松五郎		道具	4.36(明治4年)	9		(明治5年45歳 分限帳)		徳山村間ノ町		
	沢重松五郎	長男	○	沢重 松次郎				9		(明治5年9歳 分限帳)				
	沢重松五郎	二男	—	沢重 峰槌	作次郎			9		(明治5年4歳 分限帳)				
椎木家			○	椎木 小四郎		富田椎木開作(元禄12年)		3				富田村		[註1]
			○	椎木 孫兵衛		富田椎木開作(元禄12年) 川崎川西開作(元禄14年)		3				富田村		[註1]
			○	椎木 孫兵衛	上記孫兵衛か (妻須万村亀山八幡鶴岡李左衛門妹			2~3		楮苗を他国に密輸し罪に処される(依頼人の鶴岡は楮苗を広めた阿波の国主より褒賞)		富田村		[註1]
椎木家	椎木光定	長男	①	椎木 光清	喜斎 治右衛門	陣僧	11	7				寛政3年譜録提出		[譜]
椎木家			○	椎木 新吉		酒造業		7				富田村 酒造米高21.67石(天明8年)		[註4]
椎木家			○	椎木 清蔵				8				富田村川崎 白姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
椎木家			①	椎木 周吉		武庫舎支配準士	13一.五扶持 4.7(明治4年)	9		(明治5年40歳 分限帳)		徳山村御弓丁		[註4]
			—	椎木 安吉	椎木周吉養育			9		(明治3年31歳 人員録)				
椎木家			①	椎木 勘次郎		道具	4.36(明治4年)	9		(明治5年48歳 分限帳)		富田村		
	椎木勘次郎	嫡子	○	椎木 久吉				9		(明治5年14歳 分限帳)				
	椎木勘次郎	嫡子	—	椎木 清吉				9		(明治3年9歳 人員録)				
椎木家			①	椎木 岩吉		駕籠	4.36(明治4年)	9		(明治5年48歳 分限帳)		富田村川崎		
	椎木岩吉	嫡子	○	椎木 作蔵				9		(明治5年16歳 分限帳)				
	椎木岩吉	嫡子	—	椎木 虎蔵				9		(明治5年7歳 分限帳)				
椎木家			①	椎木 豊左衛門		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年48歳 分限帳)		徳山村夕顔町		
椎木家			①	椎木 新右衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年25歳 分限帳)		富田村川崎		
椎木家			①	椎木 孫一郎			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		徳山村油屋町		
椎木家			①	椎木 小兵衛			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		徳山村川崎		
塩川家	藤山十左衛門 某氏	長男	①	塩川 常房	伊右衛門 全室良提居士	中小姓	40	1~3	50	1694 元禄7年5月29日		東中町東側自北12番 万治元年改姓出仕	＊徳山・興元寺	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	富田村善宗寺順真 粟屋内匠澄方女	＊三男	②	塩川 常安	弥左衛門 傳七	馬廻	50	3~5	84	1752 宝暦2年11月17日		元禄3年家督＊祖母長空正理大姉 元禄12年8月3日興元寺		[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	塩川常安 塩川常房女	長男	③	塩川 常清	源右衛門 弥三郎	馬廻	50	5	41	1747 延享4年10月17日		父常安享保18年隠居に付家督		[譜]
	善宗寺順真 粟屋内匠澄方女	＊三男	④	塩川 常安	弥左衛門 傳七	馬廻	50	5	84	1752 宝暦2年11月17日		延享4年家督＊祖母長空正理大姉 元禄12年8月3日興元寺		[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	塩川常清 増野際右衛門政治女	＊長男	⑤	塩川 常凭	弥三郎 源之亟 勝之丞 今蔵 金蔵	馬廻	50	5~8	77	1816 文化13年9月2日		寛延3年家督/文化2年隠居		[譜]
	塩川常安 増野際右衛門政治女	二男	—	塩川 常原	→松岡常原	馬廻/医師	100	7~8	70	1816 文化13年8月3日		明和2年松岡幹養子	金剛寺[註8]	[譜][註8][註9][註11]
	松岡文仲常原 松岡甫信女	＊三男	⑥	塩川 包格	権左衛門 栄 弥一郎	馬廻 制作方都合役(天保2年)	50	8~9	74	1858 安政5年4月11日		文化2年家督/嘉永3年隠居		[譜][註4]
	塩川包格 末武村浄蓮寺光流女	長男	⑦	塩川 常祐	順蔵 勝之進	馬廻	50	9		(明治4年59歳 分限帳)		嘉永3年家督/佐幕派海防方検視役解任(慶応元年)		[譜][註1][註4][註16]
	塩川常祐 廣瀬村堀江左兵衛女	長男	⑧	塩川 常秀 ☆	静磨 弥一郎 渡 静馬	中士上等	50→14.1(M4)	9		(明治4年29歳 分限帳)		明治9年萩の乱捕縛/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	塩川常祐 廣瀬村堀江左兵衛女	二男	—	塩川 宰次郎	→原田宰(次郎)			9				明治4年25歳 原田家分限帳		[譜][御在城日記]
	塩川常祐 廣瀬村堀江左兵衛女	嫡子	—	塩川 岩人				9		(明治4年23歳 分限帳)				
	塩川常祐 廣瀬村堀江左兵衛女	嫡子	—	塩川 常信 ☆	磯之丞			9		(明治4年21歳 分限帳)				[註4]

	塩川常祐 廣瀬村堀江左兵衛女	嫡子	—	塩川 潼				9			（明治4年14歳 分限帳）			
塩川家			○	塩川 包敬				7~8				後妻德山・福田寺（R3） 後妻霊珠院戒隠慧光大姉 文化元年(1804)5月4日卒		[墓碑]
塩川家			○	塩川 某	無外了功信士			7~8				德山・福田寺（R3）		[墓碑]
塩田家			○	塩田 徳右衛門		花岡下役（天明~寛政）	萩本藩	7		1803	享和3年5月26日	大島海上鰤網/花岡櫛ケ浜江鰯網代掛合[德山毛利文庫]		[註4]
塩見家			①	塩見 嶌七		船手組		9			（明治4年54歳 分限帳）			
	塩見嶌七	嗣子	②	塩見 慎次郎			4.7（明治4年）	9			（明治4年19歳 分限帳）			
塩見家			①	塩見 虎吉		船手組		9			（明治5年57歳 分限帳）			
	塩見虎吉	嫡子	○	塩見 藤作			3.35（明治4年）	9			（明治5年16歳 分限帳）	德山村横浜		
（小幡家） 塩谷(屋)家	杉元重	二男	○	塩谷 元常	助右衛門尉			—						[譜]
			○	小幡 源右衛門	以下→小幡家	出頭	300	1						[註4]
	林正純 長沼権右衛門貞直女	＊長男	⑨	小幡 修禮	武助 正敏 富五郎 民五郎 小平次 馴油（廸）九皐（斎）	鳴鳳館学監/一代家老[註4]	300[註4]	7~8		1824	文政7年	德山・福田寺（R3） 亀井南冥師事/妻熊谷直利妹/文化5年譜録提出		[譜][註1][註4][註11]
		同一？	○	小幡 禎		用人	300	8				本丁（文政4年） 天保2年百姓一揆の際、取締側に名前あり[註4]		[註4][註16]
			○	塩谷 元禎				8~9			（明治3年70歳 人員録）			
			○	小幡（塩屋）寿恵	一格			8~9						[譜]
	箱嶋鎮直 松岡要助政典女	三男	—	小幡 裕	俊蔵 宣吉 孫六 新六 牧 小太郎 （小幡一格寿恵養子後離縁）			9				嘉永4年小幡一格跡相続人養子後離縁[箱嶋家譜録]		[箱嶋家譜録]
	三吉武平保璵 牧将剛三女	＊四男	○	塩屋 潔☆	清之丞（塩屋一格寿恵の養子）	中小姓後中士 上等 献功堂教練掛[註4]	35後50	9			（明治3年34歳 人員録）	安政5年10月24日塩屋一格寿恵養子/小幡修禮末裔[註4]		[三吉家譜録][註4]
四熊家		嗣子	⑥	四熊 為方	休庵 (娘玉野光利妻[井上・東家譜録])	医業		1~5	81	1650 1730	慶安3年 享保15年			
	四熊為方	嗣子	⑦	四熊 引方	良庵	医業		3~5	72	1676 1747	延宝4年 延享4年			
	四熊引方	嗣子	⑧	四熊 照方	好庵	医業		5	51	1699 1749	元禄12年 寛延2年			
	四熊照方	嗣子	⑨	四熊 俊方	養庵 （養女鹿野屋喜兵衛女山田勝光妻）	医業/見学堂経営		~8	72	1730 1801	享保15年 享和元年	女和田常昌、小川金房妻/『文政5年閏正月改門人録』		[註1] [小川/和田家譜録]
	四熊俊方	嗣子	⑩	四熊 敬方	東作	医業/見学堂経営		~8	72	1759 1830	宝暦9年 天保元年			[註1]
	四熊俊方	三男	—	四熊 秀菴	→四熊天民	医業		8				寛政9年4月朔日清水名正養子同10年10月20日離縁		[清水家譜録]
	四熊敬方	嗣子	⑪	四熊 義方	世美	医業/見学堂経営		8~9	61	1779 1839	安永8年 天保10年	『易学医本』『脉理論』他多数著		[註1]
	四熊義方	嗣子	⑫	四熊 謙方	文昱	医業/見学堂経営		9	42	1814 1855	文化11年 安政2年			
	四熊謙方	嗣子	⑬	四熊 直方	宗庵 惟城 紫波 六々洋 紫渓 西涯 九左衛門道如 樵宗 →⑬四熊宗庵	医業/元蕃公侍医		9	76	1833 1908	天保4年9月 明治41年1月9日	富田村十井居住 戊辰戦争徳山病院長とし従軍/『芳山風詩文集』『奥羽日記』		[註1][註4][註9] [翰墨一架]
	四熊宗庵	三男	⑭	四熊 泰治	杏僊	医師/愛知県立医学校卒		9		1865	慶応元年	富田村		[註13] [翰墨一架]
	四熊宗庵	五男	⑮	四熊 程作		眼科医/愛知県立医専卒		—		1873	明治6年	明治43年富田平野開業		[註13]
	四熊程作	長男	⑯	四熊 済夫	（ますお）紫水	医学博士		—	69	1903 1971	明治36年 昭和46年	南陽町富田		[註4] [翰墨一架]
			○	四熊 宗方				—				新南陽市 『德山市史 上』に史料提供		
	四熊宗方	二男	—	四熊 朋久		柔道整復師/整体見聞堂		—				新南陽市十井 ＊四熊家住宅主屋及び診療棟登録有形文化財		＊[周南市生涯学習課]
四熊家 分限帳より			⑬	四熊 宗庵	直方 惟城 紫波 六々洋 紫渓 西涯 （妻中村延栄三女[中村家譜録]）	中小姓 中士下等/医師	25→7.1（M4）	9	76	1833 1908	天保4年9月 明治41年1月	富田村十井 函館戦争従軍/第二次長州征伐時、第二病院懲監[註1]		[註1][註4][遺著あり註11]
	四熊宗庵	長男	○	四熊 謹尓				9			（明治4年14歳 分限帳）			
	四熊宗庵	二男	—	四熊 悦二郎				9			（明治4年7歳 分限帳）			
	四熊宗庵	三男	—	四熊 駈蔵				9			（明治4年4歳 分限帳）			
			—	四熊 雄蔵	四熊宗庵弟			9			（明治3年21歳 人員録）			
四熊家	四熊俊方	三男	①	四熊 天民	秀庵 周庵 四熊東作弟　一時→遠藤貞方	町方医		8				四熊家から遠藤家（文化8年）再度四熊家（文化11年）		[註1]
	石丸清太郎	＊長男	②	四熊 謙造		中士下等/町方医（M9帰農）		9		1826	文政9年9月3日 （明治3年45歳 人員録）	第二次長州征伐時、野戦病院勤務[註1]		[註1][註13]
	四熊謙造 四熊天民長女ませ	長男	○	四熊 熊一				9			（明治3年20歳 人員録）			
	四熊謙造	二男	—	四熊 孝吉				9			（明治3年12歳 人員録）			
四熊家	四熊俊方	九男	①	四熊 惟馨	道平	講習館塾経営		~9	69	1774 1842	安政3年 天保13年	富田川崎　尾道・佐々木三礎宅没 生涯独身[註1]		[註1]
四熊家			○	四熊 善平		庄屋（文化3年）		8				富田村		[周南風土記]

四熊屋			○	四熊屋 勝右衛門			上下着用	8				下上村 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
重岡家 (重屋)	某女		①	重岡 智定	好右衛門			—						[譜]
	重岡智定 富田村山崎某女	長男	②	重岡 智綱	利左衛門 好右衛門 (長女徳山商民野村吉右衛門嫁)			1	不明	1676	延宝4年9月9日	三女中嶋喜左衛門定行嫁		[譜]
	重岡智綱 徳山町商民山田某女	二男	③	重岡 智治	市右衛門 岩之助			1~5	84	1722	享保7年5月22日			[譜]
	重岡智治 徳山町商民村尾久兵衛女	四男	④	重岡 智成	市右衛門 又三郎 (長女商民野村茂右衛門義厚嫁)			5	47	1745	延享2年8月2日			[譜]
	重岡智成 下松商民伊賀崎九郎太夫女	長男	⑤	重岡 智貫	八郎右衛門 岩之助 好右衛門 知貫		町人	5~7	63	1786	天明6年6月21日	徳山本町 墓碑に辞世の句あり	徳山・無量寺(R1)	[譜]
	重岡智貫 川崎村農民山崎孫四郎女	二男	⑥	重岡 智丈	八郎右衛門 吉右衛門 屋号重屋		江口新開作(文化元年) 用達商人	苗字(安永9年)	7~8	73	1761 1833	年令から逆算 天保4年9月14日	徳山本町 文政7年隠居/文政2年札銀発行その心得書に記載あり	[譜][註1][註4][註14] [御領町人御仕成]
	重岡智丈 徳山町商民重岡弥七郎女	長男	⑦	重岡 智澄	三郎右衛門 岩之助		扶持人	5	8~9		1847	弘化4年4月8日	徳山本町 文政7年家督/文政13年隠居/妻祥譽智光栄林大姉文政10.7.11卒	徳山・無量寺(R5)	[譜]
	重岡智丈 福川商民原田金助姉	三男	—	重岡 伊兵衛	→野村伊兵衛				8				文政8年11月商民野村丈右衛門養子		[譜]
	重岡智丈 福川商民原田金助姉	長女	—	重岡 某女	→ 福川商民原田金蔵倅金助嫁				8						[譜]
	重岡智丈 福川商民原田金助姉	二女	—	重岡 某女	→ 夜市商民原田弥吉倅市郎左衛門嫁				8						[譜]
	重岡智澄 下松商民磯部才五郎女	長男	⑧	重岡 智範	清助		蔵本付(天保11年)	5	8~9			徳山本町 文政13年家督/天保14年譜録提出	徳山・無量寺	[譜]
重岡家 (重屋)			○	重岡 某	屋号重屋		町人(天明年間以前)	永代苗字	~7					[註1P594]
			○	重屋 好右衛門			町人(文政年間)		8			文政7年御蔵本から町奉行宛文書/重屋五代目時代相違		[註4]
			○	重屋 勘右衛門			町人	一代上下着用	8			徳山村 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
			○	重屋 瀬兵衛			町人	一代上下着用	8			徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
重岡家			○	重岡 作兵衛	＊誠誉詫心信士			~4		1720	＊享保5年2月16日		＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
			○	重岡 庄左衛門	＊相誉賈玄信士			~5		1758	＊宝暦8年11月2日		＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
重岡家			①	重岡 寛次			岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年23歳 分限帳)	徳山村代々小路		
重岡家			①	重岡 藤吉			煮方	3.35(明治4年)	9		(明治5年27歳 分限帳)	徳山村今宿		
重岡家			①	重岡 幸衛門			政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年61歳 分限帳)	徳山村今宿		
重岡家			①	重岡 治兵衛	次郎衛		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年53歳 分限帳)	徳山村代々小路		
	重岡治兵衛	二男	○	重岡 多吉					9		(明治3年11歳 人員録)			
重岡家			○	重岡 十右衛門			村会議員 米改良組合委員(明治20年)		9					[註1]
重岡屋			○	重岡屋 伊八			商民		3頃			徳山町 伊八女中村孝章嫁		[中村家譜録]
			○	重岡屋 正八			商民		3頃			徳山町 正八女伊八女二男中村章達嫁離縁/正八女長男中村孝亮		[中村家譜録]
			○	重岡屋 金助			町人		7~8			徳山町 ＊安永6年尾張商人菱屋平七著『筑紫紀行』に登場		[註1P573] ＊[徳山毛利の歴史と家宝展図録]
			○	重岡屋 信槌			町人(天保年間)	一代上下	8			徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
重国家			①	重国 庄蔵			岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治4年39歳 分限帳)			
	重国庄蔵	長男	○	重国 熊次郎					9		(明治4年8歳 分限帳)			
	重国庄蔵	二男	—	重国 卯太郎					9		(明治4年5歳 分限帳)			
重国家			○	重国 治右衛門			庄屋	苗字	8			上村 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
重廣家			①	重廣 治郎作			岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9		(明治5年32歳 分限帳)	徳山村今宿居		
重廣家			①	重廣 常左衛門			岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年29歳 分限帳)	徳山村今宿居		
重廣家			①	重廣 染左衛門			岩崎幾太郎組下等	1.8(明治4年)	9		(明治4年50歳 分限帳)	徳山村今宿居		
重廣家			①	重廣 清左衛門			岩崎幾太郎組下等	1.8(明治4年)	9		(明治4年49歳 分限帳)	徳山村今宿居		
	重廣清左衛門	嫡男	○	重廣 菊平					9		(明治4年5歳 分限帳)	徳山村今宿居		
重廣家			①	重廣 九左衛門			政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年72歳 分限帳)	徳山村今宿居		
	重廣九左衛門	嗣子	②	重廣 音吉				4.36(明治4年)	9		(明治5年21歳 分限帳)	徳山村今宿居		
重廣家			①	重廣 忠右衛門			政務局支配		9		(明治3年90歳 人員録)			
重廣家			○	重廣 擴	慈照院釈智光圓明居士				—	1896	明治29年1月27日		徳山・福田寺(R3) 妻・慈淳院釈妙信浄美大姉昭和14年1月29日卒	[墓碑]

重増家（シゲマシ）	重増善六 戸田村某女	二男	①	重増 正真	雲平	持弓	15	7~8				明和7年11月28日出仕/文化5年2月譜録制作		[譜]
	重増善六 戸田村某女	三男	—	重増 好信	→①重増好信	陣僧	11	7~8	63	1811	文化8年5月16日	明和3年出仕		[譜]
	重増正真 徳山町医師石津周伯姉	長男	②	重増 正利	市蔵 定次郎	次一代徒士	20	8~				文化5年11月20日家督/文化12年10月譜録制作		[譜][註4]
	重増雲平正真 徳山町医師石津周伯姉	二男	—	重増 正之	→井上栄尚	徒士 五ケ村算用役(文政年間)	20	8~9	□3	1849	嘉永2年7月14日	片側町自北2番江村北隣	文化7年井上敬茂家督	[譜][註1][註4]
	重増正利 山辺谷助女	長男	③	重増 市介 ☆	英保 賁 義賁 伊與蔵 勝之丞	一代下士上等	20	9		(明治3年48歳 人員録)		新丁	明治3年譜録提出	[譜][註4]
	重増市介 戸倉常五郎正幸女	二男	○	重増 太郎一	謙 謙蔵			9		(明治3年20歳 人員録)				[譜]
	重増市介 中村源右衛門章要伯母	三男	—	重増 逸馬				9		(明治3年9歳 人員録)				[譜]
重増家（シゲマシ）	重増善六 戸田村某女	三男	①	重増 好信	真斎 (妻瀬戸村石津市左衛門女)	陣僧	11	7~8	63	1811	文化8年5月16日	明和3年出仕		[譜]
	重増蔵右衛門 金子某女	＊二男	②	重増 知信	松景 安次郎 好直	陣僧	11	8	38	1825	文政8年12月29日	文化8年家督		[譜][註4]
	上村戸倉八右衛門 川曲村国光小三郎女	＊二男	中継	重増 好員	松斎 渡平	陣僧	11	8				文政9年家督		[譜]
	重増知信 野田網助記貞女	長男	③	重増 友信	真斎 次郎 真兵衛 真平	祐筆後中士下等	20二扶持後25 →7.1(M4)	9		(明治4年49歳 分限帳)		天保5年御雇同3年出仕/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	重増友信 田中正蔵顕道女	長男	○	重増 光信	常之丞			9		(明治4年21歳 分限帳)		お咎め有		[譜]
	重増友信 田中正蔵顕道女	二男	—	重増 真信	靄之進			9		(明治4年17歳 分限帳)				[譜]
重宗家			○	重宗 秀熊		徳山藩士		9				南陽町富田		[註10]
		四男	○	重宗 良策		徳山中学/八幡製鉄 耐火煉瓦協会専務理事		—				南陽町富田・東京武蔵野		[註10]
重屋			○	重岡	→重岡家	町人(屋号重屋)								
重安家			①	重安 実			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		夜市村		
（高水家）宍戸家	宍戸安芸守元家	嗣子	○	高水 元忠	少輔五郎			—						[譜]
	高水元忠	嗣子	○	高水 元兼	玄蕃允			—						[譜]
	高水元兼	嗣子	○	高水 續忠	伊豆			—						[譜]
	高水伊豆續忠 雲州佐伯兵庫頭女	二男	①	高水 隆行	彦左衛門 忠三郎	馬廻	200	1	70	1652	承応元年正月19日	下間町西側自北2番	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜]
	高水隆忠(隆行二男) 牧坂十右衛門隆栄女	＊長男	②	高水 忠行	彦左衛門 忠三郎 (隆行孫)	馬廻	150	1~3	57	1699	元禄12年9月6日	承応元年家督/貞享2年隠居/三代忠正元禄16年宍戸に改姓	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜]
	高水忠行 大春左近隆久女	長男	③	宍戸 忠正	亘 虎之助 市太夫 与右衛門 太郎左衛門 五郎兵衛	馬廻/足軽大将(物頭)	150	2~3	70	1737	元文2年12月24日	貞享3年家督/徳山藩再興功労者・内田信濃夫人の伝言を元次へ	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜][註1][註4]
	宍戸忠正 黒井三郎兵衛女	長男	④	宍戸 豊忠	亘 正名 彦左衛門	一代用人	150	5~6	64	1760	宝暦10年8月12日	父忠正享保10年隠居に付家督/宝暦8年隠居	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜]
	宍戸亘豊忠 藤井某女	長男	—	宍戸 将剛	→牧将剛	中小姓	35	7~8	72	1826	文政9年8月22日	明和9年4月6日牧将現家督	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	牧市太夫直兼 大野又右衛門直堅女	＊三男	⑤	宍戸 忠陣	彦左衛門 嘉傳	馬廻	150	5~6	27	1762	宝暦12年8月22日	覚処元年正月16日養子	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜]
	宍戸忠陣 宍戸豊忠女	長男	⑥	宍戸 寿忠	忠皓 隼太 彦太郎 平太	馬廻	150	6~8	49	1803	享和3年	後妻有福豊郷女	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜]
	宍戸寿忠 桜井新右衛門馴雄女	長男	⑦	宍戸 忠恭	里江	馬廻	150	8	31	1809	文化6年		大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜]
	宍戸寿忠 桜井新右衛門馴雄女	二男	—	宍戸 雄忠	→桜井雄忠	馬廻/町奉行(天保2年)	180	7~9	74	1856	安政3年8月24日	文化5年桜井雄信養子		[譜][註1] ＊[燈堂遺稿補遺]
	杉原登盛周 有福茂左衛門豊郷女	＊二男	⑧	宍戸 忠彦	彦左衛門 彦次郎 彦太郎	馬廻	150	8	33	1825	文政8年9月18日	文化7年養子家督	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜][註4]
	杉山内記馴昌 杉山十郎左衛門豊俊女	＊四男	⑨	宍戸 忠欽	門司 實 昌良 庫太 登 九郎右衛門 良介	馬廻	150	8~9		(明治3年73歳 人員録)		中ノ丁	宍戸家累世之墓・大成寺 文政9年家督	[譜]
	宍戸忠欽 小川新助貞女	長男	⑩	宍戸 忠明 ☆	聿衛門 孫一郎 彦太郎 春塢[註16] 彦右衛門 彦左衛門[註1、16]	馬廻後中士上等	150後70	9		(明治3年42歳 人員録)		安政4年家督/彦左衛門 蚕種製造鴻之峰組(明治8年)	宍戸家累世之墓・大成寺	[譜][註1彦左衛門][註4][註16] (明治3年譜録提出)
	宍戸忠明 末兼佐織朝興女	長男	⑪	宍戸 綏衛				9		(明治3年9歳 人員録)			宍戸家累世之墓・大成寺	
	宍戸忠明	二男	○	宍戸 亥之助				9		(明治3年4歳 人員録)				
			○	宍戸 静生				—				大正13年6月宍戸家累世之墓建立/九代以下此処ニ納骨	大成寺杉山家墓所内(R5)	
宍戸家			○	宍戸 刑司[註1]	利司[註4]			9				妻、養蚕製糸の世話方(明治4年頃)		[註1P822][註4]
	武州都筑郡信田小左衛門 某女	二男	○	信田 景道	→廣景道	蔵本付	15	—					大成寺墓地信田家之墓	[譜]
	信田七郎兵衛景道 大道理村藤井某女	長男	—	信田 定義	→廣定義	蔵本付	15	3~5		1754	宝暦4年7月17日	定久生存中某年家督	大成寺墓地信田家之墓	[譜]
	信田七郎兵衛景道 大道理村藤井某女	二男	①	信田 定森	十左衛門 友甫 七郎兵衛	徒士	20	5頃	75	1767	明和4年9月16日	岡部六七跡 東中丁西側自上17番東向	大成寺墓地信田家之墓 享保年中出仕/宝暦8年隠居	[譜]
	信田定森 徳山枝町戸川仙右衛門女	長男	②	信田 森行	清兵衛 清甫 小左衛門	徒士/算用役	20	6~7	48	1780	安永9年4月12日	宝暦8年7月12日家督	大成寺墓地信田家之墓	[譜]
	信田森行 平田村橋本三郎左衛門	長男	③	信田 直清	周蔵 梅之進 儀八	徒士 須万、大井、五ヶ村各役	20	7~8	57	1821	文政4年10月28日	安永9年6月12日家督/文化13年譜録制作	大成寺墓地信田家之墓	[譜][註4]

信田家	井上利紀 徳山町明石三左衛門女	＊二男	④	信田 盛諄	十左衛門 太吉 文政 清次 (井上又左衛門利親弟)	中小姓/須万、大井各役 大阪蔵屋敷目附役(文久元年)	25	8~9				二番丁 文政4年12月23日家督/嘉永5年譜録制作	大成寺墓地信田家之墓	[譜][註1][註4]
	信田盛諄 田村権太夫義文女	長男	⑤	信田 徽胤	定之助 平七郎 衛門介 徽 秋琴 秋栞 作太夫 伯壱 伯懿 遺族信田フサ[註10]	中小姓/谷四位 堺町御門警衛/殉難七士	25	9	41	1865	慶応元年正月14日	槍術達人/妻朝倉震陵五女利喜/水哉軒清菅秋琴居士	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註10][註11][註14][註16]
	信田盛諄 田村権太夫義文女	＊二男	⑥	信田 惟精 ☆	清兵衛 真兵衛 常吉 ＊作太夫弟常之丞	中士下等	25	9		(明治3年40歳 人員録)		明治3年譜録提出	大成寺墓地信田家之墓	[譜][註4] ＊[御在城日記文久3年]
	信田作太夫徽胤		○	信田 信介				9				『家職方日記』父作太夫とあり(M12.6.19)	大成寺墓地信田家之墓	
	＊京都松井	＊	○	信田 作太郎	信田惟精養育＊信田信介養子			9		(明治3年8歳 人員録)		徳山村751番地 ＊明治31年松井家は長男真一郎家督、妻しもを連れ信田家養子	大成寺墓地信田家之墓	＊[願届控東京毛利家文書]
			○	信田 太輔	精忠院信誉義應宏祐居士	陸軍歩兵大尉	正七位勲五等	—	30	1905	明治38年3月6日	奉天付近合戦戦死/墓誌杉山富槌撰・兼崎直輔書	大成寺共同墓地(H30)	
			○	信田 常造		徳山町技手(大正~昭和)		—				昭和11年徽胤(作太夫)の遺族として名あり(徳山市役所)	大成寺墓地信田家之墓	[註4]
			○	信田 懿文				—				昭和46年6月信田家之墓建之	大成寺墓地信田家之墓	
しつ屋			○	しつ屋 与七		町人/遠石祭市入札		8						[註4]
品川家断			断絶	品川 又右衛門			15	1						[註4]
柴田家断			断絶	柴田 治左衛門			20	1						[註4]
渋谷家断			断絶	渋谷 甚右衛門		徒士	20	不明						[註4]
島地家	専照寺11世清水円随	四男	①	島地 黙雷	雨田 北峰 六々道人 (島地改姓)	島地村妙蘇寺(蕃子)住職 西本願寺維新の三傑		宗藩	74	1838 1911	天保9年2月15日 明治44年2月3日	和田村専照寺出生 信教の自由訴/僧侶初欧州便節団/女子文芸学舎創設	専照寺生誕碑	[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	島地黙雷	嫡男	②	島地 雷夢				宗藩				和田村		
	島地黙雷	二男	—	島地 黙爾	→清水黙爾			宗藩				和田村		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
嶋田家	嶋田備前守景直	嗣子	○	嶋田 政信	徳右衛門			—				駿州島田驛居住		[譜]
	嶋田政信	嗣子	○	嶋田 景信	八郎太夫 諼休			—				備中国黒崎居住		[譜]
	嶋田景信	嗣子	○	嶋田 重信	彦左衛門		200	長府				毛利秀元公供大阪討死(慶長年中)		[譜]
	嶋田重信 赤間関奈良屋利右衛門女	長男	①	嶋田 高信		船手/大船頭	20二扶持	1~2	76	1685	貞享2年3月15日	徳山浦新宮郷代居屋敷 赤間関船手出仕/貞享元年隠居		[譜] [防長と海 県文書館]
	嶋田高信 某女	長男	②	嶋田 直信	徳右衛門	船手/大船頭 藩船船頭	25二扶持	2~5	86	1723	享保8年7月11日	河村赤助屋敷跡遠石横浜自東1番東向 赤間関出生/貞享元年家督/享保2年隠居		[譜][註4]
	嶋田直信 徳山町宮崎吉左衛門女	長男	③	嶋田 正信	長左衛門 長助	船手/大船頭 御船蔵普請見合役	25二扶持	3~5	64	1673 1736	(年令より逆算) 元文元年10月9日	享保2年家督		[譜]
	嶋田直信 徳山町宮崎吉左衛門女	二男	—	嶋田 信親	小重郎 大多和武左衛門跡継後断絶	新知別家/持弓	15	3		1713	正徳3年5月12日	宝永2年出仕		[譜]
	徳山町道原市郎右衛門 嶋田直信女	＊長男	④	嶋田 正前	徳右衛門 虎熊 常右衛門	船手/大船頭 御船蔵普請見合役	25二扶持	5~7	76	1773	安永2年8月22日	元文元年家督/明和5年隠居		[譜]
	夜市村山本源太郎 某女	＊六男	⑤	嶋田 正福	彦右衛門 藤吾 長左衛門	船手/大船頭	25二扶持	7~8	72	1798	寛政10年正月24日	明和5年家督/寛政5年隠居		[譜]
	栗屋村温品新左衛門 栗屋村温品源左衛門女	＊五男	⑥	嶋田 克正	新左衛門 鉄之助	船手/大船頭	25二扶持	7~8	53	1809	文化6年5月16日	寛政5年家督/寛政12年隠居		[譜]
	嶋田克正 嶋田正福女	長男	⑦	嶋田 正彝	孝四郎 松之助 長左衛門	船手/大船頭	25二扶持	8~9	65	1848	嘉永元年8月12日	寛政12年家督/天保7年隠居		[譜][註4]
	嶋田正彝 須万村国弘宗左衛門女	長男	⑧	嶋田 正雄	平四郎 雄吉 四郎左衛門	船手後下士上等 船手証人役	同上後20一扶持 5.7(明治4年)	8~9		(明治4年59歳 分限帳)		天保7年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	嶋田正雄 徳山村光永半兵衛女	長男	⑨	嶋田 正清	卓熊	船手証人役/献功隊		9	29	1871	明治2年5月8日	徳山村遠石水主町 函館戦争大川村の役戦死	桧山護国神社・永源山	[譜][註4][註5][註10] [山崎隊日記]
	嶋田正雄 徳山村光永半兵衛女	嫡男	—	嶋田 兎之作				9		(明治4年17歳 分限帳)				
	嶋田正雄 徳山村光永半兵衛女	嫡男	—	嶋田 久吉	久太郎			9		(明治4年12歳 分限帳)				
			○	嶋田 稔				—				昭和11年正清の遺族として名あり(徳山市役所)		
嶋田家			○	嶋田 喜右衛門		御蔵本両人(寛文12年)		1						[註4]
嶋田家断			断絶	嶋田 七郎兵衛			50	1						[註4]
島田家			—	島田 良義				—				後醍醐天皇皇子懐良親王に臣事		[註5][註8]
			—	島田 兼長		山伏		—						
			①	島田 良正		(中興の祖)		毛利						
			○	島田 大(□にト)		教学三世中興兼峯本坊五世 権大僧正法印			83			(墓地左～2番目)	徳山・泉原共同墓地(R4)	
			○	島田 圓盛	赤城子 松蔭 →役赤城	修験教学院中興五世		~7	59	1781	天明元年7月17日	国富鳳山社中/遺稿『赤城詩集第一巻』(墓地左～1番目)	徳山・泉原共同墓地(R4)	[註8][註11][註16]
	島田圓盛	嫡子	○	島田 藍泉	役観 浄観 道甫 右京 興山 良盛 →役藍泉	修験道教学院住職 旧跡18世中興6世正大先達浄観	15三扶持	~8	59	1751 1809	宝暦元年 文化6年9月28(29日	教学院居住 鳴鳳館第二代教授/『覧景集』他著書多数/幽蘭社結成	徳山・泉原共同墓地(R4)	[註1][註4][註5][註8][註9][註11] [註14][註16][荒木見悟研究]
	島田圓盛	三男	—	島田 兵助	→竹村正普	鳴鳳館助教		~8		1811	文化8年5月25日[註8]	長沼采石、御座士章と肥後遊学	徳山・本正寺[註8]	[註8]
	島田藍泉	嫡子	○	島田 義乗	瑤池翁 義乗法眼	教学院七世		8		1864	元治元年7月25日	妻貞蒼法坻大姉慶応3年8月14日卒[泉原共同墓地]	徳山・泉原共同墓地(R4)	[註8][註16]

	島田義乗	嫡子	○	島田 蕃修	蕃根 南村 圓真 真 如縄道人 圓秀 天然 圓乗 暁華懺士天心居士	漢学者/教学院/興譲館教授 藩知事時代正権大参事		9	81	1827 1907	文政10年11月8日諸説 明治40年9月2日	大成寺関龍和尚師事/詩文『崇蘭会』『瀟洒会』同人	東京芝・増上寺	[註1][註5][註8][註9][註11][註14] [註16]
	島田蕃修	二男	○	島田 友春	(蕃修長男早逝)	美術学校長/中学校教諭		—						[註8]
	島田蕃修	三男	—	島田 乾三郎		医科大学卒		—						[註8]
	島田蕃修	四男	—	島田 要四郎	中北要四郎	実業家		—						[註8]
嶋谷家			①	嶋谷 徳右衛門		酒造業/海運業 嶋屋→嶋谷汽船(株)		岩国	52	1889	明治22年	本社由宇 英国製蒸気船浦戸丸		[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷徳右衛門	長男	②	嶋谷 徳三郎		嶋谷汽船(株)/実業家		—	62	1867 1928	昭和3年	本社由宇 銘酒「公爵」「みささ醤油」		[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷徳右衛門	長女	—	嶋谷 ハル	(岩国旧家米谷二男八十八婿入)	酒造業/嶋谷酒場						由宇 銘酒「公爵」「みささ醤油」		[府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷徳三郎 熊井善次郎二女ヨシ	長男	③	嶋谷 武次		嶋谷汽船(株) 三井船舶と合併(昭和18年)		—	52	1891 1942		本社由宇→神戸(大正12)		[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷徳三郎 熊井善次郎二女ヨシ	嫡男	—	嶋谷 勇	(妻木村製薬木村秀蔵二女富久子)	京都帝大/嶋谷汽船(株)		—		1905				[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷徳三郎 熊井善次郎二女ヨシ	三男	—	嶋谷 義雄		嶋谷汽船(株)		—		1913				[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷武次 原田新作二女ミトリ	長男	④	嶋谷 文雄		慶応大/嶋谷汽船(株)		—		1919		由宇/須磨		[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	嶋谷武次 原田新作二女ミトリ	長女	—	嶋谷 春子	西大路隆和妻	慶応大/嶋谷汽船(株)		—						[府君原田三郎とその周辺]
嶋谷家	米谷八十八 嶋谷徳右衛門長女ハル	長男	○	嶋谷 亮輔	牧翁 妻「明星」同人	早稲田大/コロンビア大 朝日新聞ロンドン特派員		—				由宇 伊豆一碧湖畔別荘「拠書山荘」経営、知名人多数訪問		[府君原田三郎とその周辺]
	米谷八十八 嶋谷徳右衛門長女ハル	二男	○	嶋谷 達		酒造業/嶋谷酒場		—				由宇 銘酒「公爵」「みささ醤油」		[府君原田三郎とその周辺]
	米谷八十八 嶋谷徳右衛門長女ハル	三男	○	嶋谷 俊郎	(妻山口重田房吉長女豊子)	嶋谷汽船(株)小樽支店		—		1889		由宇/小樽 嶋谷徳三郎甥養子縁組		[人事興信録] [府君原田三郎とその周辺]
	米谷八十八 嶋谷徳右衛門長女ハル	五男	○	嶋谷 篤		農場経営(大戦後放棄)		—				由宇/農場朝鮮		[府君原田三郎とその周辺]
	米谷八十八 嶋谷徳右衛門長女ハル	六男	○	嶋谷 茂雄		日本郵船/三井船舶		—						[府君原田三郎とその周辺]
嶋原家			①	嶋原 真太郎			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		福川村福川町		
嶋屋			○	嶋屋 弥右衛門		町人		9				酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
			○	嶋屋 富之助		町人		9				櫨蠟板場職運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
			○	嶋屋 多兵衛		町人		9				売薬運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
清水家			○	清水 神左衛門		大工		1				寛永17年棟札遠石八幡宮別宮再興		[防長寺社由来]
清水家	専照寺11世清水円随	嫡子	○	清水 圓諦	蘭渓 圓随(諱) (妻内山氏)	専照寺12世住職		宗藩	70	1830 1899	文政13年6月1日 明治32年5月13日	和田村 安政3年専照寺住職/寺小屋師匠	石碑赤松連城篆額	[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	専照寺11世清水円随	四男	—	清水 黙雷	→島地黙雷	島地村妙誓寺住職 西本願寺参政		宗藩	74	1838 1911	天保9年2月15日 明治44年2月3日	和田村専照寺出生 島地改姓/僧侶初欧州視察/女子文芸学舎創設		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	島地黙雷	＊二男	○	清水 黙爾	(圓諦養子)			宗藩				和田村		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
清水家	清水三郎兵衛道正	嗣子	○	清水 保右衛門				—						[譜]
	清水保右衛門	嗣子	○	清水 太左衛門				—						[譜]
	清水太郎左衛門	嗣子	○	清水 庄左衛門				—						[譜]
	清水庄左衛門 萩領家来財間氏	長男	①	清水 名延	玄琢　可流　丹七	中小姓/本道医師	35	3~7	89	1781	天明元年10月13日	奉公以前より家微賤召仕 新見弥七跡東端丁西側自北8番 宝永3年出仕/宝暦9年隠居/隠居後下松御殿出勤		[譜][註4]
	清水名延 温見村田村与一左衛門女	長男	—	清水 名芳	玄琳			6頃				宝暦年中暇		[譜]
	清水名延 温見村田村与一左衛門女	二男	②	清水 名正	玄順 言順 玄純 小源太 文太 良益 清風院釋天華玄純居士	馬廻/本道医師	50	6~8	67	1801	享和元年7月26日	宝暦9年家督	大成寺共同墓地(H30)	[譜]
	清水名正 玉井嘉兵衛一貫女	長男	③	清水 名倫	玄貞 良益 三益 松涛軒釋温道良益庵主	馬廻/本道兼眼科	50	8~9	74	1862	文久2年5月29日	一番丁 享和元年家督/万延元年隠居	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	清水名倫 神本郡平惟貞女	三男	④	清水 名楽	瑛策 洪策 名衛 衛次 瑛二	馬廻後中士上等/藩医	50→14.1(M4)	9	41	(明治4年37歳 分限帳) 1875	明治8年4月	一番丁 万延元年家督/慶応3年種痘御用掛/明治3年譜録提出		[譜][註1][註4]
	清水名楽 光井環亮直二女ひさ	嫡子	○	清水 登熊				9		(明治4年8歳 分限帳)				
			○	清水 進				—				清水家累代之墓昭和6年5月建立	大成寺共同墓地(H30)	
清水家	清水傳右衛門	長男	○	清水 又兵衛	父傳右衛門200石出頭後暇願浪人	浪人		—						[福間家家譜]
	清水又兵衛 福間隆良女	長男	○	清水 宗親	織右衛門→福間市之丞 ＊宗林自親居士	中小姓/連歌師	25後50	1~3		1713	正徳3年5月5日	福間市之丞家断絶→清水家/元次の発句に続いた一座の一人	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[註1][註4][福間家家譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	福間常治 森脇玄伴女	＊三男	○	清水 景芳	傳大夫 彦九郎 織右衛門 沢右衛門	両人役	100	3			見島にて病没	正徳3年(1713)6月清水家家督/寛延3年蟄居見島流罪		[譜][福間家家譜]
	清水景芳 桜井新右衛門雛度女	長男	○	清水 景休	勝治 景明 自正院直応良心居士			5~6		1765	明和2年9月24日	延享2年箱嶋甚右衛門女娶る		[譜][福間家家譜]
	清水景休 箱嶋甚右衛門直員女	嫡子	—	清水 相序	→箱嶋相序			7~8				安永6年箱嶋直甫家督		[譜][福間家家譜]
			①	清水 正之進		中士下等	25→7.1(M4)	9		(明治4年48歳 分限帳)		再興		[註4]

	清水正之進	嫡子	○	清水 実之介	立之介			—						
										（明治4年9歳 分限帳）				
清水家			①	清水 弥三左衛門				9						
										（明治3年58歳 人員録）				
	清水弥三左衛門	＊嗣子	②	清水 弥兵衛	実兄入江石景 兄弟郁蔵、雪三[富海村史稿]	下士下等	15	9			富海		[註1][註4]	
	清水弥兵衛	嫡子	○	清水 幸太郎				—		（明治3年35歳 人員録）	元制産方金銭請払[明治7年谷城礼蔵 徳山毛利家文庫]			
										（明治3年4歳 人員録）				
清水家			①	清水 直衛門		河合組上等	4.36（明治4年）	9			徳山村代々小路			
										（明治5年36歳 分限帳）				
	清水直衛門	嫡子	○	清水 左右吉				—						
										（明治5年7歳 分限帳）	町会議員（明治33年）			
	清水直衛門	嫡子	—	清水 初光				—						
										（明治5年2歳 分限帳）				
清水家			①	清水 甚兵衛			1.8（明治4年）	9			夜市村			
										（明治4年 分限帳）				
清水家			①	清水 文七		政務局支配	1.8（明治4年）	9			徳山村吉屋町			
										（明治4年37歳 分限帳）				
	清水文七	嫡子	○	清水 佐二郎	清次郎？（M3年16歳人員録）			9						
										（佐二郎M4年 分限帳）				
清水家			①	清水 音右衛門		政務局支配	1.8（明治4年）	9			徳山村間ノ町			
										（明治4年52歳 分限帳）				
	清水音右衛門	嫡子	○	清水 亀蔵		初代村会書記（明治22年）		—					[註1][註4]	
										（明治4年15歳 分限帳）				
	清水音右衛門	二男	—	清水 愛吉				—						
										（明治3年7歳 人員録）				
清水家			○	清水 留之進	冨之進 清行	山崎隊		9	21	1849 嘉永2年	徳山村遠石	青森三内霊園	[註4]	
										1869 明治2年3月13日	函館戦争青森陣中病没		[山崎隊日記]	
清水家			○	清水 與兵衛	→大和屋政助	廻船業/永代苗字帯刀		9	67	1820 文政3年	佐波郡富海浦	尊攘義民大和屋政助墓	[註4][註8][註11]	
										1886 明治19年8月5日	勤王志士を助け、徳山侯に軍資献納/品川彌二郎墓碑文			
清水家			○	清水 寛之	＊善右衛門 ＊梅誉友松居士			~5				＊徳山・無量寺		
										1735 ＊享保20年5月11日			＊[徳山市社寺文化財調査（S59）]	
清水家			○	清水 善右衛門		町人		8~9					[註1]	
											藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり（天保末年現在）			
清水家			○	清水 善左衛門		町人 産物吟味方（天保2年）		8~9			河内村		[註4]	
清水家			○	清水 源内	→玉井盛道 玉井弥一右衛門の変名	浪人		3					[註1]	
											玉井弥一右衛門、浪人後変名し藩再興に尽力			
清水家			○	清水 喜右衛門	屋号清水屋	町人/御茶屋	苗字（正徳5年）	4~			徳山本町駅西		[註1][註4]	
											献納並び御賞美（宝永～安永年間記載）		[御領町人御仕成]	
	先代清水喜右衛門	嗣子	○	清水 喜右衛門	屋号清水屋	町人/御茶屋	苗字（正徳5年）	~7			徳山本町駅西		[註1][註4]	
											献納並び御賞美（宝永～安永年間記載）		[御領町人御仕成]	
			○	清水 新左衛門	屋号清水屋	町人（文化年中）		8			徳山本町			
													[周南風土記]	
清水家断			○	清水 吉右衛門		作事方/大工	35	1~					[註1][註4][註8]	
										慶安元年11月野上邸普請斧初式奉ず/興元寺釣鐘設置従事（万治2年）			[防長寺社由来]	
			断絶	清水 久兵衛		作事方	35	3頃					[註4]	
	清水吉右衛門	嫡子	○	佐古 道硯				3			大阪尼ケ崎		[註1]	
											徳山藩再興功労者			
下瀬家			①	下瀬 藤吉				~9						
										（明治4年76歳 分限帳）				
	下瀬藤吉	嗣子	②	下瀬 菊蔵		船手組	4.7	9						
										（明治4年44歳 分限帳）				
	下瀬菊蔵	長男	○	下瀬 利喜蔵				9						
										（明治4年13歳 分限帳）				
	下瀬菊蔵	二男	—	下瀬 駒太郎				9						
										（明治4年11歳 分限帳）				
	下瀬菊蔵	三男	—	下瀬 熊太郎	邦太郎			—						
										（明治4年3歳 分限帳）				
下瀬家			○	下瀬 吉左衛門		庄屋		8			東豊井			
													[周南風土記]	
下瀬家			○	下瀬 伝兵衛		都濃郡第16区戸長 （明治4年住商）		9			下松町		[註4]	
下瀬家断			断絶	下瀬 加賀守			200	1					[註4]	
城家			○	城 多三郎		須々万村長		—			須々万村		[註1][註4]	
											村会議長（明治33年）			
			①	其阿上人法照大和尚		勝栄寺開山		陶		＊永和3年1377寂	富田古市		＊[新南陽市史]	
										1379 天授5年8月15日	開基陶越前入道道栄（弘政）		[防長寺社由来]	
			②	作阿弥/＊鏡阿浄仙		勝栄寺二世					富田古市		＊[新南陽市史]	
													[防長寺社由来]	
			③	鏡阿弥/＊湛阿然室		勝栄寺三世					富田古市		＊[新南陽市史]	
													[防長寺社由来]	
			④	湛阿弥/＊徳阿善秀		勝栄寺四世					富田古市		＊[新南陽市史]	
													[防長寺社由来]	
			⑤	徳阿弥/＊浄阿清翁		勝栄寺五世					富田古市		＊[新南陽市史]	
													[防長寺社由来]	
			⑥	浄阿弥/＊清阿真山		勝栄寺六世					富田古市		＊[新南陽市史]	
													[防長寺社由来]	
			⑦	清阿弥/＊圓阿教山		勝栄寺七世					富田古市		＊[新南陽市史]	
													[防長寺社由来]	

勝栄寺			⑧	円阿弥/＊了阿覚栄		勝栄寺八世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑨	了阿弥/＊浄阿法仙		勝栄寺九世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑩	法仙和尚/＊欣阿浄玄		勝栄寺十世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑪	欣阿弥/＊證阿直性		勝栄寺十一世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑫	証阿弥/＊重阿覚倫		勝栄寺十二世						富田古市 ＊中興和尚		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑬	重阿弥/＊但阿教覚		勝栄寺十三世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑭	但阿弥/＊長阿蓮宝		勝栄寺十四世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑮	長阿弥/＊利阿天順		勝栄寺十五世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑯	蓮阿弥/＊蓮阿浄光		勝栄寺十六世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑰	円我和尚/＊相阿圓我		勝栄寺十七世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑱	臨阿弥/＊臨阿良仙		勝栄寺十八世						富田古市		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑲	智阿弥/＊諦阿智廓		勝栄寺十九世						富田古市 山号出城山は毛利元就、錦城山は豊臣秀吉に賜う		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			⑳	唯阿弥/＊漢阿春的		出城山勝栄寺二十世		5				富田古市 ＊中興和尚/元文5年寺社由来提出住職		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			㉑	性阿恭道		勝栄寺二十一世						富田古市 中興和尚/寛政7年本堂再建		[新南陽市史]
			㉒	巌阿恭辨		勝栄寺二十二世						富田古市		[新南陽市史]
			㉓	即阿歓空		勝栄寺二十三世						富田古市		[新南陽市史]
			㉔	光阿義静		勝栄寺二十四世						富田古市		[新南陽市史]
			㉕	歓誉俊乗		勝栄寺二十五世						富田古市		[新南陽市史]
			㉖	性誉真巌		勝栄寺二十六世						富田古市		[新南陽市史]
			㉗	光誉契順		勝栄寺二十七世						富田古市		[新南陽市史]
			㉘	専誉信哲		勝栄寺二十八世		—				富田古市 中興和尚/大正10年本堂庫裡再建		[新南陽市史]
			㉙	順誉持契		勝栄寺二十九世		—				富田古市 昭和15年山門再建		[新南陽市史]
			㉚	徳誉海成		錦城山宝樹院勝栄寺三十世		—				富田清水 昭和60年新南陽市史発刊時住職		[新南陽市史]
常祷院			○	行尊和尚		常祷院/中興開祖		—						[防長寺社由来]
			○	空範和尚		常祷院/中興初代		1~3				開基明徳2年大内義隆(弘か)再建中興開祖 一ノ井手/田辺山遍照寺 慶安3年大江就隆公造営中興初代		[防長寺社由来]
			○	観林和尚		常祷院/二代		3				元禄13年徳山村松前に周徳山常祷院移築		[防長寺社由来]
	棟居景尚 嶋田村戸村惣左衛門姉	二男	①	恵昭和尚	権大僧都法印恵昭大和尚	常祷院/中興和尚		5		1739	元文4年9月21日	福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
			②	恵秀和尚	権大僧都法印恵秀大和尚	常祷院二世		5~7		1775	安永4年6月23日	福田寺無縫塔(R5) ＊寛保2年由来書提出		[墓碑] ＊[防長寺社由来]
			③	宥意和尚	権大僧都法印宥意大和尚	常祷院三世		5		1757	宝暦7年9月8日	福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
			④	恵浄和尚	権大僧都法印恵浄大和尚	常祷院四世		5~7		1777	安永6年10月26日	福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
			⑤	恵學和尚	権大僧都法印恵學大和尚	常祷院五世		7~8		1815	文化12年2月26日	福田寺無縫塔(R5) 文化元年祈年山と改称		[墓碑]
			⑥	恵湛和尚	権大僧都法印恵湛大和尚	常祷院(～天保3年)		8				福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
	藤田		⑦	恵尭和尚	権大僧都法印恵尭大和尚	常祷院(天保3年~5年)		8		1834	天保5年	下松　福田寺無縫塔(R5)鷲頭寺 鷲頭寺権大僧都法印7世(～天保3年)		[墓碑] (藤田氏史料)
			⑧	恵興和尚	権大僧都法印恵興大和尚	常祷院(天保5年～13年)		8~9				福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
			⑨	恵海?	大法師恵海霊	常祷院		9				福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
	藤村政秀 福谷嘉作秀夫姉	二男	⑩	淳梁和尚	大阿闍梨淳梁大和尚　→藤村秀英	常祷院十世		9	58	1848 1905	年令から逆算 明治38年1月5日	五輪塔 徳山・福田寺(R5) 墓・碑文/法導師定戒叟修・慈悲福物福田永殖・雲照撰		[譜][墓碑]
			⑪	秀山妙全和尚	法印秀山妙全大和尚	常祷院十一世		—		1945	昭和20年11月29日	福田寺無縫塔(R5)		[墓碑]
	荘原駿河守元長	嗣子	○	荘原 就親	兵部衛			—				荘原家本家/毛利元就時代より武功あり[註1]		[譜]
	荘原就親	嗣子	○	荘原 元親	大和守			—						[譜]
	荘原元親	嗣子	○	荘原 元信	一郎兵衛 嫡子一郎兵衛元貞萩家督			宗藩						[譜]
	荘原一郎兵衛元信 児玉肥後守元貫女	三男	①	荘原 元勝	元貫 正右衛門 左助 一(市)右衛門 七兵衛 元信	馬廻	50	1~2	85	1687	貞享4年9月11日	東町西側自北4番北向 元和御代出仕		[譜][註4]

荘原家	荘原元勝 内藤市左衛門隆重女	長男	②	荘原 勝智	正右衛門 孫九郎 左助(介) 勝右衛門[註4]	馬廻	80	1~3	64	1700	元禄13年5月8日	延宝4年家督/五箇村にて紙漉き業者調査(天和2年)		[譜][註1][註4]
	荘原元勝 内藤市左衛門隆重女	二男	—	荘原 信親	→①荘原信親	新知別家/馬廻	50	1~3	48		9月18日	東中町西側自北8番 延宝6年7月出仕		[譜]
	荘原元勝 内藤市左衛門隆重女	三男	—	荘原 信之	→①荘原信之	新知別家/中小姓	三扶持銀三	1~3	45	1703	元禄16年8月27日	東中町西側自北5番[服部久太夫跡] 延宝元年出仕		[譜]
	荘原勝智 福間半左衛門隆常女	長男	③	荘原 信成	正右衛門 重芳 千碓 新三郎 仲 意適斎	馬廻	100	3~5	74	1754	宝暦4年正月30日	元禄13年出仕/寛延元年隠居/徳山藩再興功労者		[譜][註1]
	荘原勝智 福間半左衛門隆常女	二男	—	荘原 亮明	→光井亮明	馬廻	75	3~7	80	1765	明和2年11月27日	元禄15年光井佐右衛門祐秀養子/宝永4年家督		[譜][註4]
	荘原勝智 福間半左衛門隆常長女	四男	—	荘原 信章	→②荘原信章	馬廻	50	3~4	28	1719	享保4年10月27日	元禄16年養子/徳山藩再興功労者/従兄増野幾助に殺害[註1]		[譜][註1][註4]
	荘原勝智 福間半左衛門隆常女	五男	—	荘原 信知	→①荘原信知	新知別家/馬廻 豪徳院様御伽(宝永2年)	80	3~5	56	1753	宝暦3年11月19日	正徳2年出仕/徳山藩改易時、百次郎ほかに随従		[譜][註1][註4]
	荘原信成 堀田安貞女	長男	④	荘原 信勝	一郎兵衛 孫九郎	馬廻	100	5~7				寛延元年6月16日家督		[譜]
	荘原信成 堀田安貞女	二男	—	荘原 貞教	→戸田貞教	馬廻 須万村代官(安永7年1778)	50	5~7				寛延3年戸田安貞養子/宝暦2年家督/須万村の風俗改革功績あり		[譜][註1]
	荘原信成 堀田安貞女	三男	—	荘原 正恭	→堀田壽正	一代用人	130	6~8	76	1804	文化元年9月5日	宝暦5年実子未生以前堀田正敷養子	徳応寺(R4)	[譜][註4]
	荘原信成 堀田安貞女	四男	—	荘原 信清	→③荘原信清	馬廻	75	6~8	80	1822	文政5年12月3日	宝暦8年荘原九六郎養子/祐綏神社石灯籠寄進		[譜][註4]
	荘原信勝 村上喜左衛門充雄女	長男	⑤	荘原 信将	正右衛門 孫九郎	馬廻	120	7~8	65	1825	文政8年2月15日	寛政2年11月13日家督/祐綏神社石灯籠寄進		[譜][註4]
	荘原信勝 村山喜左衛門充雄女	二男	—	荘原 正満	→堀田壽満	馬廻	142.97	7~8	73	1836	天保7年3月8日	天明元年12月朔日堀田正恭養子/文化元年家督	徳応寺(R4)妻	[譜][註4] (文化5年、文政元年譜録提出)
	荘原信将 福間治郎兵衛政利妹	長男	⑥	荘原 信哲	一郎兵衛 孫九郎 右忠太	馬廻 雅太郎様御伽(八代広鎮長男/文化4年)	100	8~9		(明治4年75歳 分限帳)		文政8年4月7日家督/嘉永5年隠居	三番丁	[譜]
	荘原信将 福間政栄女クニ	二男	—	荘原 正久	→福間正久	馬廻	250	8~9	43	1803 1845	享和3年3月3日 弘化2年5月21日	文政4年福間政述養子/天保14年譜録提出	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	荘原信哲 教学院義乗妹	長男	⑦	荘原 信庸	孫九郎 正右衛門	馬廻後中士上等	100後50→14.1	9		(明治4年45歳 分限帳)		嘉永5年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	荘原信哲 教学院義乗妹	二男	—	荘原 信順	直記 糺 荘原武助信竝の養子(嘉永5年)	徳山小学校3代校長		9				岐陽(現徳山)小学校校長明治11年1月～明治12年1月		[註4] [徳山小学校史]
	荘原信哲 教学院義乗妹	三男	—	荘原 豊繹	左織 荘原信庸弟 萩家来松田豊熊豊信養子(安政6年)			9				詩文『文章会』同人[註1]		[譜][註1]
	荘原信哲 教学院義乗妹	四男	—	荘原 信美	登美衛 仲 恭馬 琢四郎 荘原信庸弟			9				冨山家老襲撃に加担・一時幽囚される		[譜][註1][註4]
	荘原信哲 教学院義乗妹	五男	—	荘原 永贋 ☆	藹士 栄五郎			9						[譜][註4]
	荘原信哲	嫡子	—	荘原 徹也	荘原信庸弟			9		(明治3年34歳 人員録)				
	荘原信哲	嫡子	—	荘原 完	荘原信庸弟			9	30	(明治4年29歳 分限帳) 1875	明治8年2月5日	荘原智活五男[児玉源太郎]		[児玉源太郎/長田昇著]
	荘原信庸 中川修人頼信妹	長男	○	荘原 孫九郎				—		(明治4年11歳 分限帳)				[譜]
	荘原信庸	二男	—	荘原 米雄				—		(明治4年3歳 分限帳)				
荘原家	荘原元勝 内藤市左衛門隆重女	二男	①	荘原 信親	市右衛門 七兵衛 左内	馬廻	50	1~3	48		9月18日	東中町西側自北8番 延宝6年7月出仕		[譜]
	荘原勝智 福間半左衛門隆常長女	＊四男	②	荘原 信章	市右衛門 四郎三郎	馬廻	50	3~4	28	1719	享保4年10月27日	元禄16年養子/徳山藩再興功労者/従兄増野幾助に殺害[註1]		[譜][註1][註4]
	荘原信章 増野意伯良万女	長男	③ 早世	荘原 兵吉		馬廻	50	4	2	1720	享保5年3月16日	享保5年家督		[譜]
	福間俊庵賢雄 石黒某	＊長男	④	荘原 信貞	市郎右衛門 庄(正)助 市三郎	馬廻	50	5	43	1741	寛保元年11月20日	享保5年家督		[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	長男	⑤	荘原 信好	七兵衛 左太郎 小源治 長三郎	馬廻	50	5~7	67	1787	天明7年11月15日	寛保2年家督/天明5年隠居		[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	二男	—	荘原 清堅	→松田清堅	馬廻	100	5~7	71	1797	寛政9年7月5日	延享2年養子/寛延元年正月松田家家督	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	三男	—	荘原 正常	→高崎正常	中小姓	35	5~8	71	1800	寛政12年3月10日	寛保3年高崎十郎右衛門孝理養子		[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	四男	—	荘原 右内	→箱嶋右内某	中小姓	25	5~				宝暦元年3月2日箱嶋中正家督/宝暦6年10月14日永暇		[譜]
	荘原信貞 荘原為右衛門信行妹	五男	—	荘原 岱庵	與七 伯寿			5~				某年他国御暇		[譜]
	荘原信好 戸倉利兵衛女	二男	⑥	荘原 信偏	幾之丞 市右衛門 信鄰	馬廻	50	7~8	73	1832	天保3年11月23日	天明5年家督/天保2年隠居		[譜][註4]
	荘原信偏 棟居園右衛門親満女	長男	⑦	荘原 信竝	武助 年次郎	馬廻	50	8~9	58	1853	嘉永6年3月19日	天保2年家督	一番丁	[譜]
	荘原信偏 棟居園右衛門親満女	二男	—	荘原 信敏	光蔵 (萩家来弘中本右衛門養子)			宗藩				文化12年徳地村荘原養伯信貞養子後文政9年弘中本右衛門養子		[譜]
	荘原信偏 棟居園右衛門親満女	三男	—	荘原 渙	孝五郎 (萩家来増山六左衛門養子)			宗藩				天保6年萩家来増山六左衛門養子		[譜]
	荘原信偏 棟居園右衛門親満女	四男	—	荘原 文助	→①荘原懿			9						
	荘原一郎兵衛信哲 教学院義乗妹	＊二男	⑧	荘原 信順 ☆	退蔵 直記 糺 妻吉原健太姉[御在城日記文久3年]	馬廻後中士上等	50→14.1(M4)	9		(明治4年42歳 分限帳)		嘉永5年養子同6年家督/徳山中学教諭(明治22～26)?		[譜][註4] (明治3年譜録提出)
	荘原信順	嫡子	○	荘原 彜太郎				—		(明治4年3歳 分限帳)				
	荘原信偏 棟居園右衛門親満女	四男	①	荘原 懿	文紀 文助 文記 彜卿 篁村 篁墩(こうとん) 安積艮斎義弟	中小姓/鳴鳳館助教授 江戸小川町に家塾	25	9	52	1810 1861	文久元年10月17日	江戸にて没 天保8年御扈弘化3年出仕/安積艮斎従学/『篁墩詩鈔』2巻		[譜][註1][註4][註8][註11][註16]

荘原家	大森道見惟恵 大森某女	＊二男	②	荘原 和	彦三	中小姓	25	9						[譜]
												文久元年養子家督		
			○	荘原 文記	釣郎	中士下等	25→7.1(M4)	9		（明治4年35歳 分限帳）		明治4年譜録提出		[譜][註4]
荘原家	荘原元勝 内藤市左衛門隆重女	三男	①	荘原 信之	為右衛門 三彌 平之丞 (父元貫を元勝とあり)	中小姓	三扶持銀三	1~3	45	1703	元禄16年8月27日	東中町西側自北5番服部久太夫跡	延宝元年出仕	[譜]
	荘原信之 米田左兵衛正貞二女	長男	②	荘原 信行	為右衛門 弥太郎 吉左衛門	馬廻	100	3~7	71	1766	明和3年7月29日		徳山藩再興功労者	[譜][註1][註4]
	荘原信行 亀谷小兵衛和之女	長男	③	荘原 信敬	源兵衛 千之助 万之丞 織右衛門	馬廻	100	5~8	79	1805	文化2年11月6日			[譜][註4]
	荘原信敬 神代十左衛門常義女	長男	④	荘原 信喜	源治 喜代之丞 信起	馬廻/目付	100	7~8	50	1807	文化4年4月2日			[譜][註4]
	本多勘左衛門忠兼 荘原信敬女	＊二男	⑤	荘原 信尚	吉三郎	馬廻	90	8	13	1807	文化4年7月10日			[譜]
	荘原正助信清 玉井嘉兵衛一貫女	＊二男	⑥	荘原 信義	循司 均 千熊 千吉 左吉郎 市蔵 右作 新次郎	馬廻/両人役/御密用掛	90	8~9	35 [ママ]	死亡年令間違[譜] 1853	嘉永6年5月29日		文化4年養子同5年家督	[譜][註4][註16]
	荘原信義 山本東庵有実女	長男	⑦	荘原 信譲	真次郎 織次郎 (妻荘原知虞女)	馬廻	100	8~9	70	1860	万延元年10月25日		天保13年御雇馬廻/嘉永6年家督	[譜][註4]
	松岡正忠 磯部善左衛門斯猷女	＊長男	⑧	荘原 信卓 ☆	卓二郎 (長男、二男二説あり[譜])	中士上等	50→14.1(M4)	9		（明治4年23歳 分限帳）		明治3年譜録提出		[譜][註4]
荘原家	荘原勝智 福間半左衛門隆當女	五男	①	荘原 信知	正(庄)七 重春 五郎	新知別家/馬廻 豪徳院様御伽(四代元尊/宝永2年)	80	3~5	56	1753	宝暦3年11月19日		正徳2年出仕/徳山藩改易時、百次郎ほかに随従	[譜][註1][註4]
	荘原信知 末武村浄蓮寺姉	二男	②	荘原 九六郎		馬廻	75	5	8	1757	宝暦7年11月25日		宝暦4年家督/早逝為断絶も信知豪徳院様側仕因被免	[譜]
	荘原信成 堀田弥一郎正敷姉	＊四男	③	荘原 信清	正助 信敏 左助 新次郎 千槌	馬廻	75	6~8	80	1822	文政5年12月3日		宝暦8年養子家督/祐綏神社石灯籠寄進	[譜][註4]
	荘原正助信清 荘原信知女	長男	④	荘原 信峻	悌蔵 繁蔵	馬廻	75	8	60	1822	文政5年正月17日		文化5年家督	[譜][註4]
	荘原正助信清 玉井嘉兵衛一貫女	二男	—	荘原 信義	→⑥荘原信義	馬廻/両人役/御密用掛	90	8~9		1853	嘉永6年5月29日		文化4年荘原信尚跡家督	[譜][註4][註16]
	荘原正助信清 玉井嘉兵衛一貫女	三男	—	荘原 信任	駒之助 駒三郎 荘原信幹叔父[ママ](大叔父)			8~9		（明治4年84歳 分限帳）				[譜]
	荘原正助信清 玉井嘉兵衛一貫女	四男	—	荘原 信篤	四郎治 四郎吉 源蔵 (萩家来岡部忠真養子後離縁)			宗藩				享和3年萩家来岡部半蔵忠真養子文化3年離縁		[譜]
	荘原信峻 林馴章女	長男	⑤	荘原 信彝	正七郎 千代吉	馬廻	75	7~8	29	1833	天保4年8月7日		文政5年家督/文政10年隠居	[譜]
	荘原信峻 林馴章女	＊二男	⑥	荘原 知虞	総助 信晃 総 速見 速輔 悌蔵 信晁	馬廻	75	8~9		（明治4年65歳 分限帳）		文政10年家督		[譜][註4]
	荘原信峻 林馴章女	三男	—	荘原 信春	→林 方矩	馬廻	150	8~9	25	1839	天保10年11月2日		天保7年林小十郎方勝養子	[譜]
	荘原知虞 井上長吉光弼妹	長男	⑦	荘原 信幹 ☆	矗允 矗亮	中士上等 陸軍大尉心得[防長回天史]	50→14.1(M4)	9		（明治4年29歳 分限帳）		荘原簡明治9年萩の乱参加/文久4年譜録提出		[譜][註4] [山崎隊日記]
	荘原知虞 井上長吉光弼妹	二男	—	荘原 信和	卓爾 萬壽之介 誠二郎			9						[譜]
	荘原知虞		—	荘原 確呼	確乎 荘原信幹弟	山崎隊		9		（明治4年25歳 分限帳）				[註4]
	荘原信幹	嫡子	○	荘原 孟太郎				—		（明治4年1歳 分限帳）				
荘原家			○	荘原 養伯		医師		宗藩				徳地村 文化12年荘原信敏一時養子/寛政12年和田常昌女一時妹分		[荘原/和田家譜録]
庄原家			○	庄原 素		畚種製造鴻之峰組 (明治8年)		9						[註1]
勝屋家			○	勝屋 貴為				大内				須々万八幡宮(現飛龍八幡)に画幅寄進(1503年)		[周南市]
勝屋家			○	勝屋 右馬之允	興久	藤谷城主(須々万奥藤谷)		大内				下牛の毛地区向林 須々万沼城龍城/坂新五左衛門により討死(白砂川の戦い)		[内藤家文書]
勝屋家	勝屋某 某女	嫡子	①	勝屋 正栄	平七 幸左衛門[註4] ＊心岳宗源信士	蔵本付/医師 出仕以前下松出生医業	15	2~3		1711	正徳元年12月29日	外横町南側自西5番北向 天和年中出仕	徳山・福田寺(R3)妻塔あり ＊妻太功妙玄信女 元禄10年5.18福田寺	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	勝屋某 某女	＊	—	勝屋 重弘	→①勝屋重弘 勝屋正栄弟	新知別家/船大工	20	2~3	66	1697	元禄10年5月6日	出仕以前下松生	貞享年中出仕	[譜] [防長と海/県文書館]
	勝屋正栄 渡邊孫兵衛環女	長男	②	勝屋 正実	甚右衛門	徒士	20	3~7	86	1775	安永4年12月15日		正徳元年家督/明和7年6月朔日隠居	[譜]
	勝屋正栄 東豊井村林忠左衛門女	二男	—	勝屋 正近	→①勝屋正近	新知別家/茶道	現米6三扶持	3~7	70余	1766	明和3年5月20日	東町東側自北6番西向	徳山・福田寺(R3) 元禄年中別家	[譜]
	勝屋正実 原田金左衛門正勝女	長男	—	勝屋 正中	仁兵衛	蔵本付	不明[譜]	5頃					某年御雇	[譜]
	勝屋仁兵衛正中 藤岡興市左衛門盛高女	＊長男	③	勝屋 正奥	弥市	徒士	20	7	33	1779	安永8年6月6日		明和7年6月朔日家督	[譜]
	勝屋仁兵衛正中 藤岡興市左衛門盛高女	二男	—	勝屋 正直	→西村正直	持弓	15	7	42	1792	寛政4年10月15日		安永3年正月西村好太郎正格養子	[譜]
	小野伊左衛門包清 東豊井村武居清兵衛女	＊二男	④	勝屋 正貞	伊三郎 孝(幸)左衛門	徒士/代官下代	20	7~9	71	1839	天保10年10月26日		徳山・福田寺(R3) 安永9年5月7日養子家督/天明元年正奥跡家督	[譜][註4] [田畠向諸願控]
	勝屋正貞 来巻村宮田四郎左衛門女	長男	⑤	勝屋 正斐	甚右衛門 槌之進	徒士後中士下等	20	9		（明治4年71歳 分限帳）			徳山・福田寺(R3) 天保10年9月23日家督/明治3年譜録提出	[譜][註4]
	勝屋正貞 来巻村宮田四郎左衛門女	二男	—	勝屋 文助	萩家来藤野吉左衛門養子文政7年			宗藩						[譜]
	勝屋正貞 来巻村宮田四郎左衛門女	五男	—	勝屋 唯七	→小野包茂	徒士	20	9				一番丁 天保9年小野伊助運貞養子		[譜][註3][註4]
	勝屋正斐 徳山町中山伴七妹	長男	⑥	勝屋 正道	喜七郎 平七郎	御雇(万延元年3月)		9			天保年間		(俗名不明勇芳軒義峰英秀居士元治2年2月22日卒)	[譜]
	勝屋正斐	嫡子	⑦	勝屋 賢作			7.1(明治4年)	9		（明治4年18歳 分限帳）				

			○	勝屋 正夫	自脩院天眞正夫居士	養蚕製糸技術習得者 (明治18年)	士族	9	42		明治2□年	徳山・福田寺(R3) 勝屋半七正栄一族墓所		[註1]
			○	勝屋 正平		養種製造業者(明治23年)		9						[註1]
			⑪	勝屋 榮介				—				徳山・福田寺(R3) 還暦記念累代之墓建立昭和10年10月26日		
勝屋家			○	勝屋 違全	南窓了山居士			—		1742	寛保2年8月6日	徳山・福田寺(R3)		
	勝屋正栄 東豊井村林忠左衛門女	二男	①	勝屋 正近	誠斎 可(嘉)碩 銕翁常船居士	茶道	現米6三扶持	3~7	70余	1766	明和3年5月20日	東町東側自北6番西向 元禄年中出仕/母青山□竹比丘尼之□寛保元年6月20日卒	徳山・福田寺(R3)母有り	[譜]
	勝屋正近	長男	—	勝屋 正信	長可			5頃						[譜]
	西村清蔵善征 西豊井村西教寺姪	＊二男	②	勝屋 正直	意碩 友二(次)郎 直格 五雲庵意碩塚	茶道	現米6三扶持	6~7	38	1785	天明5年9月8日	正直屋敷跡朝倉南陵拝領 宝暦12年養子/明和3年家督	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	西村平助政直 西村清蔵善征女	＊二男	③	勝屋 正舊	清斎 助次郎 寂照院清心良道居士 妻慶応2年正月5日卒	茶道	現米5三扶持	8~9		1858	安政5年10月24日	岡本喜熊跡東端町東側自北12番 寛政12年家督/天保9年隠居	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	藤井正左衛門教恭 小林甚左衛門苗恵妹	＊長男	④	勝屋 正常	宗哲 瀧兵衛 宗治 邑治 長謙院四世宗哲居士	茶道 蚕種製造鴻之峰組(明治8年)	現米6三扶持	9	71	(明治4年52歳 分限帳) 1890	明治23年11月12日	一番丁 天保8年養子同9年家督安政5年隠居/先妻嘉永元年2月27日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4]
	勝屋正常 勝屋正舊女	長男	⑤	勝屋 正尚	初次郎 正尚院忠嶽良義居士	中士下等	25九俵→7.1	9	24	(明治4年21歳 分限帳) 1874	明治7年10月26日	文久元年6月家督/明治3年譜録提出	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	勝屋正常	嗣子	○	勝屋 槌熊	勝屋正尚弟			9		(明治4年9歳 分限帳)				
			○	勝屋 朋雄	浄心院禅海朋雄居士			—		1960	昭和35年10月11日	妻十代子十光院霊照信女昭和48年5月27日卒	徳山・福田寺(R3)	
勝屋家	勝屋右馬頭重貞	嗣子	○	勝屋 重種	與五郎			—						[譜]
	勝屋重種	嗣子	○	勝屋 重春	左衛門			—						[譜]
	勝屋重春	嗣子	○	勝屋 重氏	左兵衛			—						[譜]
	勝屋某 某女	＊	①	勝屋 重弘	甚助 伊兵衛 勝屋正栄弟(重氏衆子)	船大工	20	2~3	66	1697	元禄10年5月6日	出仕以前下松生 貞享年中出仕		[譜] [防長と海/県文書館]
	勝屋重弘 某女	長男	②	勝屋 重安	左兵衛 甚之丞	船大工	20	3		1700	元禄13年4月11日	元禄11年家督		[譜]
	勝屋重弘 某女	＊二男	③	勝屋 重宗	甚助 七之助	船大工	20	3~5		1730	享保15年9月24日	元禄13年家督		[譜][註4]
	勝屋重宗 櫛ヶ浜快照院女	長男	④	勝屋 重政	左兵衛 甚太郎 甚助	船大工	20	5~7	23	1784	天明4年正月15日	享保15年家督		[譜]
	勝屋重宗 櫛ヶ浜快照院女	二男	—	勝屋 平蔵		舸子		7				明和5年8月24日出仕		[譜]
	勝屋重政 久米村福田惣左衛門女	長男	⑤	勝屋 重親	甚助 佐太郎	船大工	20二扶持	7~8	70	1820	文政3年5月19日	天明4年家督/文政元年隠居		[譜][註4]
	勝屋重政 久米村福田惣左衛門女	二男	—	勝屋 正晴	→小林正晴	船手/中船頭	15二扶持	7~9	83	1838	天保9年12月15日	安永8年小林孫右衛門直武養子		[譜][註4]
	勝屋重親 櫛ヶ浜快照院女	長男	⑥	勝屋 重任	文左衛門 勘次郎 作兵衛[註4]	船大工	20二扶持	8~9	69	1850	嘉永3年2月12日	文政元年家督		[譜][註4]
	勝屋重親 櫛ヶ浜快照院女	二男 三男	—	勝屋 某	重親二男萩領櫛ケ浜快照院養子 重親三男萩洞春寺弟子	(詳細不明)		8				寛政8年10月25日養子 文化7年10月5日弟子		[譜]
	勝屋重任 小林文蔵正晴女	長男	⑦	勝屋 重義	佐兵衛 孝治郎 重保	船大工	20二扶持→7.1	9		(明治4年43歳 分限帳)		嘉永3年家督/文久2年譜録編纂		[譜][註4]
	勝屋重義 小周防村石光伊兵衛女	嫡子	○	勝屋 真次郎	真一郎(士族人員録)			9		(明治4年10歳 分限帳)				
	勝屋重義 小周防村石光伊兵衛女	嫡子	—	勝屋 保三郎	保治郎(士族人員録)			9		(明治4年7歳 分限帳)				
勝屋家			①	勝屋 熊蔵		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年69歳 分限帳)		徳山村東浜崎町		
	勝屋熊蔵	嗣子	②	勝屋 萬吉			4.36(明治4年)	9		(明治5年26歳 分限帳)		徳山村東浜崎町		
勝屋家			○	勝屋 九郎次		寺小屋(明治6年)		9				富田/農民		[註7]
白倉家			○	白倉 左治馬				宗藩				浅江村		[箱嶋家譜録]
	箱嶋相序 棟居喜内景保女	＊二男	○	白倉 直庸	操 市右衛門 運平 (文政元年離縁)			宗藩				浅江村 文化7年白倉左治馬養子文政元年離縁		[箱嶋家譜録]
白井家			①	白井 十次郎		船手組	4.7(明治4年)	9		(明治4年35歳 分限帳)				
	白井十次郎	嫡子	○	白井 恒次郎				—		(明治4年1歳 分限帳)				
白木家			①	白木 與太郎			1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)		徳山村寺町		
白木屋			○	白木屋 文吉		町人		8				富田新町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]
水津家			○	水津 光端	風月窩(カ) 左太夫[註8]	連歌師	100	3				里村昌億徒学/水津光端独吟千句『花玉集』(元禄16年)		[譜][註1][註8][註9][註11][註14] (江戸に欠落正徳3年[註8])
	萩某女		①	水津 道芳	吉右衛門	徒士	現米2二扶持	1	82	1657	明暦3年11月8日	元和年中出仕		[譜]
	水津道芳 萩某女	長男	②	水津 實明	治兵衛	徒士	20	1~2		1684	貞享元年8月23日	某年家督		[譜]
	水津實明 徳地村野坂某女	長男	③	水津 之義	久太夫	中小姓	25	2~3	53	1664 1716	(年令より逆算) 正徳6年3月11日	某年家督		[譜][註4]
	水津實明 徳地村野坂某女	*二男	④	水津 信為	治兵衛 三代之義弟	中小姓	25	2~5	72	1661 1732	(年令より逆算) 享保17年6月2日	鐘楼町西側自南4番新 某年家督		[譜]

水津家	水津信為 萩領石田浪人葛原某女	二女	一	水津 某女	(水津)伊左衛門義覚嫁			3~5				冨田村岩崎氏水津伊左衛門義覚		[譜]
	水津伊左衛門義覚 水津信為二女	*長男	⑤	水津 頼致	六郎 英陳 亀千代	中小姓	25	5	25	1720 1744	(年令より逆算) 延享元年7月25日	勢屯西町自東1番 西新町東側自北3番	享保17年家督	[譜]
	水津伊左衛門義覚 水津信為二女	*三男	⑥	水津 正孝	治兵衛 荘八	中小姓	25	5~8	76	1801	享和元年10月5日	東端町東側自北15番 延享元年家督/寛政6年隠居		[譜]
	水津正孝 井上平左衛門之澄妹	長男	⑦	水津 正令	宰 正家 品之丞 茂四郎	馬廻/須万代官(文政5年)	50	7~9	74	1840	天保11年5月23日	寛政6年家督	泉原共同墓地(H30)	[譜][註4]
	水津正孝 井上平左衛門之澄妹	二男	一	水津 敬	→吉弘直敬	馬廻	50	7~8	42	1813	文化10年9月11日	寛政2年吉弘玄章家督		[譜][註4]
	水津正令 山田仁右衛門正明女	長男	⑧	水津 正彰	岩次郎 巌			8~9				天保7年家督		[譜][註4]
	水津宰正令 山田仁右衛門正明女	二男	一	水津 正哲	→奥田正哲	中小姓	25	8~9				文化13年奥田恵政家督/弘化3年笞奥田家退身		[譜]
	水津正令 山田仁右衛門正明女	三男	一	水津 景治	→楢崎景治	中小姓	25	8	19	1825	文政8年正月18日	文政5年栖崎半之丞誠美家督		[譜]
	水津正令 山田仁右衛門正明女	四男	一	水津 敏	龍蔵 太吉郎			8		1824	文政7年5月18日			[譜]
	水津正彰 井上協之祐妹	長男	⑨	水津 正樹	尚絅			9				一番丁居住 嘉永2年譜録提出		[譜]
		嗣子	○	水津 政雄		中小姓	25	9			(明治4年45歳 分限帳)		泉原共同墓地(H30)	[註4]
		嗣子	○	水津 継栄	六郎	中士下等	25→10.2(M4)	9			(明治4年30歳 分限帳)			[註4]
水津家			①	水津 郁 ☆	郁乎			9						[註4]
水津家	某女		①	水津 三正	東悦 山清	馬廻/本道医師		1~2		1681	天和元年8月12日	東町西側自北5番 奉公以前石州浪人萩領医業/寛永年中出仕		[譜]
	水津三正 大野市正女	長男	②	水津 三省	東悦 寿庵 山清	馬廻/本道医師	53	2~3		1708	宝永5年8月22日	天和元年家督		[譜]
	水津三正 大野市正女	二男	一	水津 光端	左太夫 九市郎	新知別家	詳細不詳	2頃				某年別家		[譜]
	水津三正 大野市正女	三男	一	水津 儀兵衛	→大野儀兵衛	馬廻	150	1~3				某年大野九郎兵衛直金養子家督/人年後遠島(正徳3年)		[譜][註4][註8]
	水津三省 木屋茂兵衛女	長男	③ 断絶	水津 康輯	寿盤 寿仙	馬廻/本道医師	十五扶持	3~5	74	1755	宝暦5年4月14日	宝永3年元次により京都遊学[註1]/宝永5年家督		[譜][註1][註4][註9]
	水津康輯 亀谷小兵衛和之女	長男	一	水津 康稿	玄珠			3頃						[譜]
	水津康輯 亀谷小兵衛和之女	二男	一	水津 常章	多門 正蔵	久来三郎様御伽(延享元年) (六代毛利広寛)	一生一扶持	5頃				宝暦6年病身に付実家		[譜]
	水津康輯 亀谷小兵衛和之女	三男	一	水津 宣政	亀槌 新蔵 東悦			~8		1818	文政元年10月26日			[譜]
	水津康輯 亀谷小兵衛和之女	四男	④	水津 常正	靄弥 丹治 寿仙 惣兵衛	中小姓/医師	25	5~8	72	1815	文化12年12月8日	光井宇右衛門跡東端町西側自北7番 宝暦6年出仕家督/文化11年隠居		[譜][註4]
	高崎五郎兵衛政信 高崎五郎兵衛正常女	*二男	⑤	水津 常信	常倫 隼太 政右衛門 五郎	中小姓	25	8~9		1862	文久2年12月28日	一番丁 文化7年養子同11年家督/安政5年隠居		[譜]
	水津正彰 井上協之祐妹	*二男	⑥	水津 正質	餘一	中小姓 殉難七士調役	25	9			(明治4年42歳 分限帳)	安政5年家督/佐幕派両人役解任//撃剣会開催[註8]		[譜][註1][註4][註8]
	水津正質 熊毛東荷村林富之進妹	嗣子	⑦	水津 三代熊	美代熊	中士下等 (医業を廃し平士[註1])	25→10.2(M4)	9			(明治4年17歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註1][註4]
	水津正質	嫡子	一	水津 虎雄	武之進(士族人員録) (妻水木師播良二女ミノ)			—			(明治4年4歳 分限帳)			
水津家			①	水津 義作		河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年28歳 分限帳)	徳山村風呂ヶ迫		
水津家			①	水津 政造	政蔵	河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年23歳 分限帳)	徳山村河原		
水津家断			断絶	水津 忠兵衛		徒士	20	3				開作御証拠物控[徳山毛利文庫]		[註4]
水津家			①	水津 與助	志馬右衛門	河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年38歳 分限帳)	徳山村風呂ヶ迫		
	水津與助	長男	○	水津 達次郎				9			(明治5年15歳 分限帳)			
	水津與助	二男	一	水津 免吉				9			(明治5年11歳 分限帳)			
	水津與助	三男	一	水津 虎熊				9			(明治5年6歳 分限帳)			
	水津與助	四男	一	水津 四郎吉				—			(明治5年4歳 分限帳)			
水津家			①	水津 文蔵	文額知道信士	岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9	71	1901	(明治5年42歳 分限帳) 明治34年旧9月25日	徳山村風呂ヶ迫	徳山・福田寺(R3)	[明治2年安野保五郎制作地図]
	水津文蔵	嫡子	○	水津 熊吉				9			(明治5年14歳 分限帳)			
	水津文蔵	嫡子	ー	水津 文吉				9			(明治3年10歳 人員録)			
水津家			①	水津 與兵衛		政務局支配	1.8(明治4年)	9			(明治4年75歳 分限帳)	徳山村風呂ヶ迫		
水津家			○	水津 与蔵				9				徳山村風呂ヶ迫		[明治2年安野保五郎制作地図]
末益屋			○	末益屋 源左衛門	末岡屋	酒造業		7				奈古村		[註4]
末兼家			○	末兼 玄積		地下医師		9				大津島 大津島で種痘接種		[註1]

末次家	祖末次五左衛門		○	末次 原仲	見 文竜 冨春 (四男二女あり)	應神廟経営/町方医		~7	61			富田村	富田・善宗寺碑あり	
										1785	天明5年4月2日	徳山長沼師事/ 碑文長門清末待講國島觀		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	末次原仲 善甫助左衛門女	三男	○	末次 玄喬	謙 子益	町方医		7	22			富田村	富田・善宗寺	
										1780	安永9年1(2)月26日	徳山長沼師事		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	末次原仲 善甫助左衛門女	四男	○	末次 又右衛門		町方医		7~				富田村		
														[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
末次家			①	末次 謙叟	謙受[註1]	町方医		~9				富田村		[註1]
												四熊見学堂に学ぶ		
	末次謙叟	嗣子	②	末次 周斎	(妻原幾五郎二女ナカ、 後妻神本寛斎長女ヨシ)	町方医		9	67	1846	弘化3年6月5日	富田村		[註1]
										1912	明治45年1月20日	第二次長州征伐時、第二病院勤務[註1]		
末次家	兼田半左衛門		○	末次 郁	鞠江 文哉 慶誉文哉居士	農業/寺小屋		8	67			冨田・称名寺/碑文四熊家11代世美義方		[菊川のむかしむかし]
										1819	文政2年6月10日	陶興房の家系/兄の子家督/宮崎八幡宮石段建設門人480名と		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
末次家			○	末次 勘吾		寺小屋		9	61			下上村	建咲院/碑文井上利済撰	
	末次某				誓誉勘吾居士					1856	安政3年10月5日	妻四熊氏/四男あり		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
末次家	佐波郡馬神渡辺仁右衛門	＊長男	○	末次 久吾	豊顕 義翁院仁誉久吾居士	寺小屋(安政5年頃～		9	77	1823	文政6年正月10日	富田古市	富田・称名寺	
										1899	明治32年11月9日	末次三成養子		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	末次久吾	嗣子	○	末次 馬喜太				—						
														[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
末次家			①	末次 文吉		上士粟屋宋人家来		9						
											(明治3年32歳 人員録)			
	末次文吉	嫡子	○	末次 義一郎				9						
											(明治3年4歳 人員録)			
末次家			○	末次 操九郎		徳山藩士		9						
	末次操九郎	二男	○	末次 信正		海軍大将/内閣参議	従二位勲一等	—	65	1880	明治13年6月25(30)日	徳山町・東京小石川	多摩霊園/隠居山記念碑	[註10]
										1944	昭和19年12月29日			
	末次信正 千葉県藤田弁三郎長女のぶ	長男	○	末次 信義		海軍大佐		—	40	1906	明治41年4月10日	東京	多摩霊園	[註10]
										1945	昭和20年4月7日	坊ノ岬沖海戦戦艦大和と運命を共に		
	末次信義 東京山内豊中二女春子	長男	○	末次 義明		三菱日本重工業		—		1940	昭和15年1月23日	東京		[註10]
	末次信義 東京山内豊中二女春子	二男	—	末次 健夫		慶応大学		—		1944	昭和19年1月11日	東京		[註10]
末廣家			①	末廣 芳蔵		河合組下等	3.35(明治4年)	9				徳山村新町		
											(明治5年28歳 分限帳)			
			—	末廣 保吉	安吉(明治3年士族人員録) 末廣芳蔵兄			9			(明治5年43歳 分限帳) (明治3年38歳 人員録)			
末益家			○	末益 莞品		町方医		9						[註1]
												第二次長州征伐時、第四病院勤務[註1]		
末光家			①	末光 玖兵衛		上士粟屋宋人家来		9						
											(明治3年30歳 人員録)			
	末光玖兵衛	嫡子	○	末光 與吉				9						
											(明治3年14歳 人員録)			
末光家			①	末光 喜兵衛		河合組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村鐘撞堂丁		
											(明治5年23歳 分限帳)			
末光家			①	末光 佳左衛門	徳佐衛門(佳左衛門誤字か)	岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9				徳山村鐘撞堂丁		
											(明治5年45歳 分限帳)			
	末光徳左衛門	長男	○	末光 三千造	美津次郎			9						
											(明治5年18歳 分限帳)			
	末光徳左衛門	二男	ー	末光 保次郎	末光彦衛門へ養子			9						
											(明治5年15歳 分限帳)			
	末光徳左衛門	三男	ー	末光 鹿次郎				9						
											(明治5年13歳 分限帳)			
末光家			①	末光 彦衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9				徳山村鐘撞堂丁		
											(明治4年79歳 分限帳)			
	末光徳左衛門	＊二男	○	末光 保次郎				9						
											(明治5年15歳 分限帳)			
末光家			○	末光 喜一郎	釈浄内信士			—					徳山・福田寺(R3)	
										1911	明治44年9月23日			
菅家断			断絶	菅 左太夫			50	1						[註4]
菅家断			断絶	菅 太兵衛			9	1						[註4]
菅田家			①	菅田 藤吉		駕籠	4.36(明治4年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年33歳 分限帳)			
	菅田藤吉	嫡子	○	菅田 峰吉	峯吉			9						
											(明治5年5歳 分限帳)			
菅田家			①	菅田 駒七				9						
											(明治3年53歳 人員録)			
	菅田駒七	嫡子	②	菅田 幾蔵		駕籠		9						
											(明治3年27歳 人員録)			
	菅田幾蔵	嫡子	○	菅田 関蔵				—						
											(明治3年2歳 其他人員録)			
菅田家断			断絶	菅田 三郎右衛門		船手	25	1						[註4]
杉家			①	杉 脩治		上士粟屋宋人家来		9						[譜]
											(明治3年25歳 人員録)			
			—	杉 道三	杉脩治弟			9						[譜]
											(明治3年23歳 人員録)			
			—	杉 鼎祐	杉脩治弟			9						[譜]
											(明治3年19歳 人員録)			
杉家			○	杉 東山				7~8						[註1]
												本城紫巌の門人		

杉浦家	江戸浪人杉浦六郎左衛門 某女	＊	○	杉浦 忠左衛門	(隠岐守仕官後浪人)			—						[譜]
	二見権左衛門嗣子久兵衛 石黒林右衛門女	＊	①	杉浦 正武	次郎左衛門 丹治 源七 定右衛門	徒士	20	5~7	71	1792	寛政4年正月11日	奉公以前江戸出生/延享2年出仕/天明8年隠居/柔術師範		[譜]
	杉浦正武	長男	—	杉浦 正光	時之丞			7						[譜]
												明和2年御雇/死後天明6年順之、正武養子同8年家督		
	伊藤成久 栗屋村温品堂右衛門女	＊三男	②	杉浦 順之	忠助 次郎左衛門 伊藤弥五郎督悦弟	徒士	20	7~8	71	1766 1836	明和3年 天保7年3月23日	馬場外片側丁自北7番東向 扱心流柔術(都濃郡誌)門人五百に及ぶ/天保4年隠居	徳山・無量寺/碑文黒神直民	[譜][註1][註4][註5][註11][註14] [註16]
	徳山村兼重平蔵 長尾村岩本専三郎妹	＊	解消	杉浦 保之	順盛 権左衛門 孝次郎	徒士	20	7~9				西山義右衛門跡馬場外堅丁西側自北1番東 文化元年養子/病身に付家督困難		[譜]
	杉浦保之権左衛門 伊藤弥五郎督悦女	＊長男	③	杉浦 時敏	種治 亀吉 恒吉 磯之丞 助五郎	徒士	20	7~9			(明治4年65歳 分限帳)	天保4年家督		[譜][註4]
	杉浦保之権左衛門 伊藤弥五郎督悦女	二男	—	杉浦 重之	浪平 虎吉	新知別家/蔵本付	三扶持	9				天保8年兄時敏御供江戸御雇		[譜]
	杉浦保之権左衛門 伊藤弥五郎督悦女	三男	—	杉浦 某	保之の7子(9、10子男子早世) 杉浦直温	防府国分寺弟子(天保2年)		8~9						[譜]
	杉浦保之権左衛門 伊藤弥五郎督悦女	三男	—	杉浦 直温	→岡直温/岡山杢兵衛酔谷	中小姓/画家	20二扶持	9				嘉永元年8月20日岡敬明家督		[譜][註1][註4]
	杉浦時敏 原田伊予作直教女	長男	④	杉浦 正哿 ☆	正済 武揚 熊太郎 三輪蔵	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9			(明治4年30歳 分限帳)	万延2年御雇/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	杉浦時敏 原田伊予作直教女	二男	—	杉浦 波保 ☆	荒蔵 湊			9			(明治4年22歳 分限帳)			[譜]
	杉浦正哿	嫡子	⑤	杉浦 孝太郎		八幡製鉄所技師	勲七等	—			(明治4年4歳 分限帳)	徳山細工町 杉浦家累世之墓大正4年8月建立	徳山・無量寺(R5)	[註9]
杉浦家			○	杉浦 正健	與三兵衛	牧野越中守家来		5頃						[譜]
	三木孝春 水津三省女	＊四男	○	杉浦 景健	與三兵衛 金蔵 右衛門七			5頃				宝暦元年年11月24日杉浦正健養子		[譜]
杉原家	某女	長男	①	杉原 重受	九郎左衛門 因光受縁居士 妻遠藤正忠二女	馬廻	50	1~3		1709	宝永6年正月20日	明暦頃出仕/元禄7年隠居	徳山・福田寺(R3)	[譜] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	遠藤與右衛門正恒 遠藤次郎左衛門正忠三女	＊三男	②	杉原 重俊	九郎左衛門 隼馬 丹治 万七 茂七	馬廻	80	3~5		1737	元文2年3月25日	下間町西側自北3番東向 元禄7年家督		[譜][註4]
	杉原重俊 坂田瀬兵衛尭與女	長男	③	杉原 重辰	小八 小八郎	馬廻	80	5		1739	元文4年3月14日	元文2年家督		[譜]
	杉原重俊 坂田瀬兵衛尭與女	二男	—	杉原 万弥	簑五郎	新知別家/中小姓	25	5				享保17年出仕		[譜]
	宗友右衛門正英	＊二男	④	杉原 重誠	九郎左衛門 右平太	馬廻	80	5		1754	宝暦4年2月9日	三代重辰重病に付生存中養子元文4年家督		[譜]
	宗友右衛門正英	＊三男	永暇	杉原 勇左衛門		馬廻	80	5				四代重誠重病に付生存中養子宝暦元年家督同6年永暇		[譜]
	岩崎仁左衛門知方 松岡勢左衛門政直女	＊三男	⑤	杉原 盛周	舎 正蔵 義正院實巌良忠居士 (長女長沼簡嫁)	馬廻/御居間物頭 (隠居後も御居間出入)	100	5~8	86	1825	文政8年正月5日	宝暦6年家督/7代就馴公の御伝役エピソードあり[註9]	徳山・福田寺(R3)	[譜][註9]
	杉原盛周 有福茂左衛門豊郷女	二男	—	杉原 忠彦	→宍戸忠彦	馬廻	150	8	33	1825	文政8年9月18日	文化7年宍戸忠恭養子	大迫田本正寺墓誌(R1)	[譜][註4]
	三木傳内景貞 岩崎茂兵衛貞昌姉	＊三男	⑥	杉原 盛緝	孝之丞 知水 禾々斎観知水居士	馬廻	100	8	57	1836	天保7年9月13日	文化8年家督/妻清操院真観如水大姉嘉永4年2月13日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	長沼文次郎簡 杉原盛周女	＊二男	⑦	杉原 周茂	茂津美 龍助 廉治 茂美 茂木 嘉樹 珉次 苞卿 小心軒圓智方行居士	組外馬廻/評定役	110	8~9	61	1867	慶応3年2月16日	中ノ丁 盛緝天保6年隠居に付家督/妻盛緝女・明心院圓室貞鏡大姉	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4][註8][註16] (嘉永2年譜録提出)
	岩崎仁左衛門信恭 大野太右衛門直定女	＊二男	⑧	杉原 周太郎	寂静院心源蘇堂居士	中士上等	50→14.1(M4)	9	69	1852 1920	嘉永5年2月15日 大正9年2月19日	徳山町4092番地居住 明治元年養子	徳山・福田寺(R3)	[註4][註8][註10] [旧士族分限帳]
	岩崎仁左衛門信恭 大野太右衛門直定女	長女	—	杉原 ソノ	→福間ソノ	毛利家教育係キワ援助		9	81	1847 1927	弘化4年8月3日 昭和2年6月27日	朝鮮平壌にて死去 キワ養育キワ毛利家出仕後共に毛利家教育	徳山・福田寺(台石あり)	
	杉原周太郎 貞永正甫妹チヨ	長女	—	杉原 キワ	→福間キワ	毛利家出仕教育係 池坊総華督/裏千家教授		11	74	1884 1957	明治17年3月14日 昭和32年1月30日	叔母福間ソノ宅養育/元秀室甫子龍愛/水木孝作人夫結婚	徳山・金剛寺	
	杉原周太郎 貞永正甫妹チヨ	長男	○	杉原 豊	(姉キワ→福間キワ) 昌禅院賢徹豊信居士			—	74	1961	昭和36年8月11日	母チヨ、豊出産後まもなく死亡/妻杉山唯一三女	徳山・福田寺墓誌	[福間家家譜]
	杉原周太郎 福谷栄茂女マス	二男	○	杉原 晋	天眞院本源自性居士 (妻東京神立弥太郎娘喜美子)	徳中/東京商科大 日新アルミ取締役他		—	77	1896 1972	明治29年2月18日 昭和47年5月21日	三番丁・名古屋 妻心月院寂照恵明大姉昭和47年8月28日卒	徳山・福田寺(R3)娘3人建之	[註10]
	杉原周太郎 福谷栄茂女マス	三男	○	杉原 充	龍雲院梅光英秀居士	東洋曹達		—	53	1964	昭和39年1月9日		徳山・福田寺墓誌	
			○	杉原 盛胤 ☆	桜			9						[譜][註4]
杉原家	武永某 増藤庄兵衛女		①	杉原 重純	伊左衛門 新右衛門 彦兵衛 武永伊左衛門[註4]	細工/大工	25二扶持	3~5		1736	元文元年4月4日	徳山辻村浪人 宝永2年出仕/享保年中御還付中於萩暇願		[譜][註4]
	杉原重純 某女	長男	—	杉原 重英 [断絶]	次郎右衛門 藤吉 民右衛門十一右衛門 泉原洪範宗寿(二男政常三代目)	新知別家/中小姓	25	3		1777	安永6年正月19日	止徳4年出仕/享保年中御還付中於萩暇願暇後泉原改姓	徳山・福田寺(R3)母も有	[譜][註4]
	杉原重純 藤井弥左衛門女	二男	②	杉原 重政	武左衛門 勘十郎 (妻中嶋小兵衛行與女)	徒士/江戸御台所算用役	20	5	48	1742	寛保2年8月26日	享保14年再興	江戸にて卒	[譜]
	杉原次郎右衛門重英 江村新五兵衛忠利女	＊二男	③	杉原 政常	武左衛門 太源太	徒士/下代	20	5~8	65	1799	寛政11年3月晦日	寛保2年家督/寛政2年隠居		[譜][註4]
	杉原政常 難波庄兵衛勝正女	長男	④	杉原 有盛	有政 源吾	中小姓	25	8	75	1838	天保9年12月6日	西町東側自北5番 大明8年嫡子願蔵本記録方出仕/寛政2年家督/天保8年隠居	妻徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	杉原政常 難波庄兵衛勝正女	二男	—	杉原 雅篤	對助 源次 金吾							大明8年吉原宣方養子離縁/寛政12年江村思公弟分		[譜]
	杉原政常 難波庄兵衛勝正女	五男	—	杉原 信一	→高木信一	徒士	20	~8	53	1831	天保2年正月14日	寛政元年高木清兵衛信門養子		[譜][註4]
	杉原有盛 高木清兵衛信門女	長男	—	杉原 盛輔	平一郎 (妻藤井道之助常恭女)			8		1836	天保7年10月16日	天保7年2月28日結婚同年12月26日盛輔死後妻実家へ		[譜]
	杉原有盛 高木清兵衛信門女	二男	—	杉原 敏	→渡邊敏	馬廻/両人役	75	8~9	71	1875	(明治4年67歳 分限帳) 明治8年12月12日	一番丁 文政3年渡邊薄養子	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	杉原有盛 高木清兵衛信門女	四男	⑤	杉原 盛喜	織江 象之助 (盛喜四、七、八男早世)	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	9			(明治4年61歳 分限帳)	西ノ丁 天宝8年家督/小笠原流礼式師範/明治3年譜録提出		[譜][註1][註4][註5][註8][註16]

	杉原盛喜 今田常吉保光姉	長男	⑥	杉原 継盛 ☆	孫太郎 成正院唯覚浄心居士			9		1867	慶応3年5月4日(墓碑)	徳山・福田寺(R3)		[譜][註4][註16]
	杉原盛喜 今田常吉保光姉	二男	—	杉原 盛栄	栄槌			9						[譜]
	杉原盛喜 今田常吉保光姉	三男	—	杉原 盛彬	修	別家		—						[譜]
	杉原盛喜	嫡子	—	杉原 志津馬	志津馬(M3士族人員録19歳)			9		(明治4年20歳 分限帳)				
	杉原盛喜	嫡子	—	杉原 勝衛	勝衛(M3士族人員録14歳)			9		(明治4年15歳 分限帳)				
	杉原盛喜	嫡子	—	杉原 九郎	杉原盛彬か 九郎(M3士族人員録8歳)			9		(明治4年9歳 分限帳)	從六位勲六等別家初代墓碑	徳山・福田寺(R3)建立		
	杉原盛喜	嫡子	—	杉原 祥之助	祥之助(旧士族分限帳)			9						
杉原家			○	杉原 藤之丞		萩在番(天保2年)		8			百姓一揆演古手控(天保2年)			[註1][註4]
			○	杉原 盛重	杉原播磨守盛重系先祖代々墓とある。後の榮昌了□が建てたものと思われる 榮昌了□居士寛永4年(1627)8月晦日妻養岳妙保大姉寛文4年(1664)2月13日卒			元就		1581	天正9年12月25日[譜]	備後国/伯州桒山・八橋 伯州八橋(やはせ)にて病死	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	杉原播磨守盛重	嗣子	○	杉原 重宗	右京太夫			—				備後国		[譜]
	杉原重宗	嗣子	○	入澤 重村	新右衛門		150+50	秀元				備後国入澤庄/櫛ケ浜 入澤改姓/大阪陣軍功後流浪櫛ケ浜へ		[譜]
	入澤重村 吉田與三兵衛女	二男	①	入澤 重家	與三兵衛 四郎兵衛 八郎左衛門 重直 庄左衛門 澤柳玄彭居士	徒士	20	1~2	72	1616 1687	年令から逆算 貞享4年正月20日	横東町北側自西4番南向 某年家督/妻華月妙空信女元禄11年3月7日卒福田寺	徳山・福田寺(R3)	[譜] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	入澤重家 清水五郎右衛門女	三男	②	杉原 義重	與三兵衛 松之助 次郎太夫 →入沢與三兵衛(享保年中杉原改姓)	徒士	20	3~5	73	1737	元文2年3月23日	娘寒林童女享保14.12.4/妻金屋妙剛信女宝永5.11.10卒	妻子徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	杉原義重 富田村花房善左衛門女	四男	③	杉原 重安	本右衛門 與七郎 政左衛門	徒士	20	5~7	57	1774	安永3年4月11日	元文2年家督		[譜]
	杉原義重 富田村花房善左衛門女	＊五男	—	松原 一貫	→松原一貞	蔵本付	15二扶持	6~7	55	1778	安永7年3月2日	宝暦8年松原久左衛門直信養子	徳山・福田寺(R3)	[譜]
（入沢家） 杉原家	杉原重安 津田善七忠昌女	長男	④	杉原 義盛	芳助 與七	徒士	20	7	20	1779	安永8年3月7日	安永3年家督	江戸表方役掛中死去	[譜]
	杉原重安 津田善七忠昌女	＊二男	⑤	杉原 重郷	伴五郎 九十郎 要助 民助 黙證院唯心素朴居士	徒士/算用役(寛政12年)	20	7~9	79	1841	天保12年11月4日	安永8年家督/妻習證院貞操永心大姉天保14年10月二9日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	弘中正助尚賢 上村重国宇平次女	＊長男	⑥	杉原 盛好	弥左衛門 梅乃丞 範助 潤生院天霖永澤居士	徒士	20	9		1867	慶応3年2月22日	一番丁 文政12年家督/玉生院恒琳貞樹大姉明治25年3月31日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	浅田五郎右衛門信貫 藤岡與一左衛門盛恒妹	＊三男	⑦	杉原 盛裕 ☆	與三太 幾太 源次郎 松旭斎 韜禪院緑巌泉苔居士 →浅田盛裕☆	徒士後下士上等 藩知事時代正権少属	20→5.7(M4)	9		(明治4年43歳 分限帳)	盛好安政5年隠居同家督/浅田栄次伯父/生花師匠[註9]		徳山・福田寺無縁墓(R3)	[譜][註4][註9] (明治3年譜録提出)
			—	杉原 盛秀 ☆	友雄 ＊幾太弟友次郎 ＊岡山杢兵衛養子			9		(明治3年21歳 人員録)	杉原盛裕弟[人員録]			[註4] ＊[御在城日記文久3年]
	杉原盛裕	長男	○	杉原 一郎				—		(明治4年7歳 分限帳)				
	杉原盛裕	二男	—	杉原 二郎				—		(明治4年4歳 分限帳)				
	杉原盛裕	三男	—	杉原 三郎				—		(明治4年3歳 分限帳)				
	杉原盛裕	嫡男	—	杉原 五郎	錦章禪童子			—		1878	明治11年8月30日	並記・杉原與三娘梅林智杏童女明治7年12月8日卒	徳山・福田寺(R3)	
杉村家			○	杉村 某	(墓碑判読不可) 杉村氏□□宗寒禪定門			3		1702	元禄15年□月29日	杉村氏母墓碑帰元眞光不空禪定尼享保9年9月29日卒	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
			○	杉村 又助				3~頃				寺町 杉村又助父堅峰宗固信士宝永6年10月4日卒	徳山・福田寺(R3)	[墓碑] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
杉山家			○	杉山 元澄	土佐守 (清兵衛は長男か)	二の丸事件以後浪人		輝元				周姫(二の丸)掠奪		[譜]
	杉山元澄 某女	二男	①	杉山 隆昌	三郎左衛門 長兵衛 円誉本清信士	永代用人	300	1		1663	寛文3年8月1日	上本丁西側自北3番 8歳の時二丸棟召仕/元和年中出仕	徳山・大成寺(R5)	[譜][註1][註4] [徳山市の社寺文化財]
	杉山隆昌 山縣善右衛門允勝女	嫡子	②	杉山 隆俊	十(重)郎左衛門 次郎助 九郎兵衛 玄俊	永代用人 初代就隆当職[註1]	300	1~3		1707	宝永4年11月27日	妻粟屋隆方四女高景院俊嶺慧信大姉宝永2年12月24日卒		[譜][註4]
	杉山隆俊 粟屋内匠隆方四女	三男	—	杉山 恒千代	→山下順庵			3頃				某年有故義絶後山下采女子分		[譜]
	杉山太兵衛倶澄 某女	＊四男	③	杉山 賢憲	十郎左衛門 勘八 六郎兵衛 九郎兵衛	永代用人	300	3				元禄3年12月25日養子/宝永3年8月暇		[譜]
	奈古屋勘兵衛隆忠 深瀬式部尚良女	＊八男	④	杉山 次俊	三郎左衛門 忠勝 常右衛門 丹下 吉弥 左兵衛	永代用人	300	3~5		1738	元文3年4月15日	五代毛利広豊当職[註1]/宝永3年10月3日家督	徳山・大成寺 [註8]	[譜][註1][註4][註8]
	杉山次俊 福間治部右衛門隆良女	長男	—	杉山 豊治	→奈古屋豊兼	家老	500	3~5	46	1758	宝暦8年8月9日	享保14年12月以上意奈古屋主悦豊昌養子	大迫田八正寺(H30)	[譜]
	杉山次俊 福間治部右衛門隆良女	二男	⑤	杉山 義智	丹宮 友之進	永代用人	300	5		1754	宝暦4年5月16日	元文3年家督同6年隠居		[譜]
	福間治部右衛門隆良 福間竹	＊二男	⑥	杉山 豊房	太郎左衛門 芳春 十兵衛 福間良治	永代用人	300	3~5	74	1754	宝暦5年10月26日	五代病身に付元文6年家督	大成寺共同墓地(H30)	[譜]
	杉山豊房 苫国簡井尻某	長男	⑦	杉山 豊俊	十郎左衛門 良春 新八郎 豊昌 長兵衛 丹下 義山玄道居士	永代用人	300	5~7	31	1773	安永2年5月26日	宝暦5年家督/江戸在所中病気草津駅死去	大成寺共同墓地(H30)	[譜] [徳山地方郷土史7号]
	福間良清 村上市郎右衛門女	＊六男	⑧	杉山 馴昌	直記 俊昌 金吾 内記 歓斎 福間親常弟	永代用人	300	7~8	71	1759 1829	宝暦9年2月10日 文政12年正月7日	安永3年家督/享和2年隠居	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	杉山馴昌 杉山豊俊女	長男	⑨	杉山 壽布	直記 俊英 壽俊 俊之助 小角 □馬	永代用人	300	8	33	1811	文化8年8月6日	享和2年家督/江戸在所中死去	大成寺共同墓地(H30)	[譜]
	杉山馴昌 杉山豊俊女	四男	—	杉山 昌良	→宍戸忠欽	馬廻	150	8~9		(明治3年73歳 人員録)		中ノ丁 文政9年宍戸彦左衛門思彦跡家督		[譜]
	福間良清 村上市郎右衛門女	＊	⑩	杉山 馴昌	8代馴昌再度家督	永代用人	300	7~8	71	1829	文政12年正月7日	文化8年再度家督/文政7年隠居	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	杉山壽布 粟屋丹宮馴郷女	長男	⑪	杉山 壽静	三郎左衛門太夫 翼 壽保 万三郎 衛守 後妻粟屋図書寿盛女照妹為	一代家老 九代元蕃当職[註1]	300	8~9	36	1840	天保11年7月9日	妻温恭院貞室妙喜大姉天保5年8月23日卒/後妻嘉永3.6.6卒	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註1][註4]

	杉山壽布 粟屋丹宮馴郷女	二男	一	杉山 布昌	→奈古屋栄貞	馬廻	75	9		1855	安政2年8月8日	二番丁 天保8年奈古屋思助栄全養子	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	杉山壽静 粟屋図書寿盛女照	二男	⑫	杉山 篤儀	紀佐之助 儀俊 勇衛 帯刀 蕃儀 一學 慈照院心眼圓通居士	永代用人	300	9		1863	文久3年正月27日	本丁 天保12年家督	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	杉山篤儀 福間刑馬壽昭女	長男	⑬	杉山 鏽之進	鏽之進[譜]	中士上等	70→19.4(M4)	9			(明治4年17歳 分限帳)			[譜][註4]
	杉山篤儀 三宅最馬姉?		一	杉山 駒槌	杉山鏽之進弟			9			(明治4年13歳 分限帳)			
			○	杉山 蕃昌	寛量院雪巖全□居士			9		1888	明治21年2月8日		大成寺共同墓地(H30)	
			○	杉山 富槌		＊東京大学哲学科/正七位 徳山中学校長[註4P293]		—			(＊明治34年27歳)	明治38年信田太輔墓碑文撰(大成寺共同墓地)		[註4] ＊[徳高物語]
			○	杉山 正	恒斎	徳山中学教授		—		1934	昭和9年7月9日	上本丁 漢文書道教授/夫婦の墓・妻昭和34年2月16日没	大成寺共同墓地(H30)	[有田民雄蔵画帳/翰墨一架]
			○	杉山 正雄				—	86			夫婦の墓・妻梅平成元年12月21日86歳没	大成寺共同墓地(H30)	
杉山家			○	杉山 素一郎		都濃郡第10区戸長 (明治4年士族)		9				須々万本郷村		[註4]
須子家断			断絶	須子 又右衛門			25	1						[註4]
須子家断			断絶	須子 源兵衛			11	1						[註4]
鈴木家	吉武某 某女		①	鈴木 兼任	良房 良益 良庵 秋怡 吉武謙二完宣弟	馬廻/医師	15扶持	5~7	73	1768	明和5年4月29日	寛延2年出仕/明和2年隠居		[譜]
	御城坊主野村盛房忠宣 某女	＊二男	②	鈴木 兼雄	周伯	馬廻/医師	75	~8	62	1804	文化元年6月22日	明和2年家督		[譜]
	飯田辨之助範正 奈古屋常右衛門維章女	＊二男	③	鈴木 兼敬	喜作 玄(言)仲 敬丈 子淵 龍洞 文隆	馬廻/医師	75	8				文化元年養子		[譜][註4][註16]
		＊	④	鈴木 兼住	量庵	馬廻/医師	75	~9	54	1843	天保14年9月21日			[譜]
	肥前医師大賀伯(敬)順 某女	＊二男	⑤	鈴木 信仁	良脊 量庵 父伯順は五嶋左衛門尉様医師	馬廻/医師	75	9		1819 (明治4年53歳 分限帳)	文政2年2月10日	天保14年9月11日養子同年10月家督		[譜][註4][註13]
	鈴木信仁	嗣子	⑥	鈴木 澤	信作	中小姓/中士下等/藩医	25→7.1(M4)	9	32	1850 1881	嘉永3年9月21日 明治14年6月2日	明治3年譜録提出/明治7年東京転居 [註4]		[譜][註1][註4]
鈴木家			①	鈴木 研斎		上士粟屋宋人家来		9			(明治3年33歳 人員録)			
鈴木家			○	鈴木 勝夫		共栄社取締役(明治29年)		9						[註1]
須田家断			断絶	須田 市兵衛			20	1						[註4]
隅家			○	隅 四兵衛尉		大工		1				寛永18年棟札須万村八幡宮建立		[防長寺社由来]
			○	隅 三四郎		大工		1				寛永18年棟札須万村八幡宮建立(小工)		[防長寺社由来]
角田家断			断絶	角田 可見		茶道	現米6三扶持	3						[譜][註4]
澄田家	澄田孫左衛門勝利	嗣子	○	澄田 清之	孫左衛門			—						[譜]
	澄田清之	嗣子	○	澄田 行政	孫右衛門			—						[譜]
	澄田行政	嗣子	○	澄田 勝之	三右衛門			—						[譜]
	澄田勝之 小畑村石田定右衛門女	長男	—	澄田 経春	三之進 國助 萩藩済田和六衛信養子			宗藩				天明3年4月堅田縫殿家来済田和六衛信養子		[譜]
	澄田勝之 小畑村石田定右衛門女	二男	①	澄田 定清	定経 巻右衛門 三右衛門	徒士	20	5~8	81	1813	文化10年11月20日	東端町東側自北8番西向 奉公以前萩藩堅田内記家来/宝暦6年出仕/享和元年隠居		[譜]
	澄田定清 廣五兵衛光成女	三男	②	澄田 一樹	重兵衛 米治郎 紋蔵 京之助 基助	徒士	20	8				享和元年10月10日家督/天保9年2月15日隠居		[譜][註4]
	澄田一樹 重増雲平正真女	長男	③	澄田 信清	政右衛門 常太郎 常次郎	徒士	20	9				一番丁 天保9年家督/嘉永2年譜録提出		[譜]
	澄田一樹 重増雲平正真女	二男	—	澄田 一法	観三 宇吉			8		1825	文政8年8月10日			[譜]
	澄田一樹 重増雲平正真女	三男	—	澄田 一虎	清 佐市			8~9		1839	天保10年正月24日			[譜]
			○	澄田 作市		徒士	20	9				一番丁		[註4]
	向道村大道理田中家	＊	—	澄田 勝清 ☆	竜(龍)之進	下士上等/献功隊	20	9	不詳 [註5]	1870	明治3年2月9日	一番丁 脱退事件佐波郡船橋にて戦死(常備軍) [註4]	永源山/泉原共同墓地(R2)	[註4][註5][註8][註10]
澄田家			①	澄田 亀蔵			5.7(明治4年)	9			(明治4年22歳 分限帳)			
澄田家			①	澄田 音七		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9			(明治4年49歳 分限帳)	徳山村岡田原		
	澄田音七	長男	○	澄田 常三郎	常吉			9			(明治4年18歳 分限帳)			
	澄田音七	二男	—	澄田 悦次郎				9			(明治4年8歳 分限帳)			
	澄田音七	三男	—	澄田 熊吉				9			(明治4年5歳 分限帳)			
澄田家			①	澄田 嘉作			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	徳山村新町		
住屋			○	住屋 小十郎		町人/遠石祭市入札		8				徳山町 巳魚梁連上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]

清崖			○	清崖	→生田家清崖	宇和島龍華山等覚寺住職		—				天保13年12月15日大成寺弟子/幕末宇和島藩周旋役徳山藩へ		[註1]
清木家	河内村 林五郎右衛門姉		①	清木 正継	善右衛門 今七	蔵本付/吟味方(天保2年)	16	9				下松町河内村 奉公以前農民天保5年銀献納為賞美/天保9年出仕同11年隠居		[譜][註4]
	清木正継 佐伯源兵衛妹		②	清木 直慶	善吉 (妻河内村磯部弥右衛門女)	徒士	16	9				天保11年家督/嘉永2年譜録提出		[譜]
清木家			①	清木 権左衛門		上士奈古屋裕家来		9			(明治3年45歳 人員録)			
	清木権左衛門	嫡子	○	清木 国太郎				9			(明治3年13歳 人員録)			
清木家			①	清木 幸吉		上士福間蕃雄家来		9			(明治3年35歳 人員録)			
	清木幸吉	長男	○	清木 嘉一				9			(明治3年9歳 人員録)			
	清木幸吉	二男	—	清木 角次				9			(明治3年4歳 人員録)			
清木家			①	清木 静雄			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	河内村		
勢尾家			○	勢尾 伝十郎		山崎隊		9						[註4] [山崎隊日記]
関家	某女		①	関 兼方	久兵衛	馬廻	150	1	75	1671	寛文11年	東中町東側自北14番 元和年中出仕		[譜][註4]
	関兼方 某女	二男	—	関 常春	→①関常春	新知別家/馬廻	50	1~4	73	1706	宝永3年	東中町東側自北15番 正保年中新知出仕		[譜]
	関兼方 某女	三男	②	関 兼清	嘉右衛門 嘉助 富田嘉助[註4]	中小姓	30	1~3	57		某年	元禄3年改姓富田元禄15年再度改姓関		[譜][註4]
	関兼清 徳山町山田七左衛門女	長男	③	関 兼久	彦兵衛	中小姓	30	3~5	28	1695 1722	年令から逆算 享保7年12月19日	某年家督		[譜]
	岡次郎右衛門縫政 某女	＊三男	④	関 光直	小七	中小姓	30	5	35	1728	享保13年9月16日	享保8年家督/江戸番手中死去		[譜]
	柳平内以孝 徳地村白井権六女	＊長男	⑤	関 清恒	嘉右衛門 平太郎 平左衛門	中小姓	30	5~6	44	1759	宝暦9年正月20日	享保13年家督		[譜]
	関清恒 関光直長女	長男	⑥	関 清方	嘉右衛門 忠蔵 又太郎	中小姓	30	6~8	64	1807	文化4年7月2日	宝暦9年家督		[譜]
	関清恒 関光直長女	二男	—	関 信好	荘碓	三田尻雲光院弟子		宗藩				宝暦13年防府三田尻雲光院弟子		[譜]
	関清方 櫛ヶ浜中山左次兵衛女	長男	⑦	関 清徴	新右衛門 忠次郎 彦之丞	中小姓	30	8~9	78	1845	弘化2年7月2日	文化4年家督		[譜][註4]
	関清方 櫛ヶ浜中山左次兵衛女	二男	—	関 清直	弥助			7				寛政元年長崎本蔵正利子分後離縁		[譜]
	関清徴 鹿野村有馬清八女	長男	⑧	関 久延	雅之助 廉助 清保 嘉衛門 常善	中小姓後中士下等 ＊蔵本両人役	30(＊50)	9			(明治4年54歳 分限帳)	二番丁 弘化2年家督/文久4年正月譜録提出		[譜][註4][註16] ＊在城日記
	関久延 伊藤源五郎景信女	長男	⑨	関 清美			10.2(明治4年)	9			(明治4年17歳 分限帳)			
関家断	関兼方 某女	二男	①	関 常春	久左衛門 勘之丞	馬廻	50	1~4	73	1706	宝永3年	東中町東側自北15番 正保年中新知出仕		[譜]
	関常春 江村五郎左衛門女	長男	② 断絶	関 常好	久兵衛 七郎	馬廻	50	3~5				元禄15年家督/享保11年断絶		[譜][註4]
	関常春 江村五郎左衛門女	二男	断絶	関 常久	嘉助	新知別家/中小姓	25	3				宝永7年新知出仕/正徳5年頃断絶		[譜]
関谷家			①	関谷 清七		船手組	4.7(明治4年)	9			(明治4年64歳 分限帳)			
	関谷清七	嫡子	○	関谷 清治	竹次郎			9			(明治4年19歳 分限帳)			
関戸家			①	関戸 五郎			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	徳山村幸町		
銭屋(浅海)			○	銭屋 好右衛門		下松好右衛門(新)開作		7				徳山町 安永元年(1772)下松好右衛門(新)開作		[註1]
			○	銭屋 小兵衛	演誉慈栄居士 (女天明元年山田正明嫁/小兵衛女死亡に付正明享和元年再婚)	銭屋		7		1782	天明2年	徳山町 孫山田正貞		[山田家譜録]
			○	銭屋 新蔵	明誉實性居士 妻禎誉壽□大姉享和3年8月卒	銭屋 平野屋高橋治助内(文化10年)	上下着用	7~8		1815	文化12年4月7日	徳山本町 献納並御賞美(享和、文化年間)後妻天誉素明大姉文化5年5月卒	徳山八正寺(R5)	[註4] [御領町人御仕成]
			○	銭屋 小兵衛	銭屋小兵衛/唱誉浄學居士 (妻曜誉明照大姉天保7年9月卒)	銭屋 産物吟味方用掛/年寄格	上下着用御免	8~9		1853	嘉永6年11月27日	徳山町 天保2年7月吟味方任命/天保5年献納並び御賞美一件	徳山八正寺(R5)	[註4][註14]
			○	浅海 政熊		銭屋		8~9		1843	天保14年	徳山町	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	浅海 弥右衛門	顕誉猷宗居士	銭屋		8~9		1843	天保14年9月	徳山町 (妻誠誉至心大姉明治28年旧5月2日卒)	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	銭屋 弥三郎	銭屋弥三郎 厚誉栄心居士/妻直誉貞廉大姉	銭屋	上下着用	8~9		1844	天保15年正月11日	徳山町 妻天保14年5月13日卒/天保5年(1834)献納並び賞美一件	徳山八正寺(R5)	[註4]
			○	浅海 藤助	真誉寥観居士	銭屋		8		1805	文化2年8月9日	徳山町	徳山八正寺(R5)傳蔵並記	[墓碑]
			○	浅海 傳蔵	通誉琳達居士	銭屋		8~9		1847	弘化4年9月	徳山町	徳山八正寺(R5)藤助並記	[墓碑]
			○	浅海 常蔵		銭屋		8~9		1846	弘化3年6月5日	徳山町 妻明治28年旧8月卒	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	浅海 與兵衛	浣誉濯全居士/妻浣誉明音大姉	銭屋		8~9		1845	弘化2年3月7日	徳山町 妻明治28年旧8月卒	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	銭屋 由助		銭屋		9				徳山町 御算用一紙、河内村酒場運上銀(嘉永2年)		[註4]
			○	浅海 勇		ぜにや		—				ぜにや浅海勇昭和53年9月吉日建立(墓碑より)	徳山八正寺(R5)	

瀬来家			①	瀬来 徳次郎			3.6(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	山田村		
瀬来家			①	瀬来 駒之丞			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	山田村		
瀬来家			○	瀬来 孔公				9			(明治9年 29歳)	山田村	萩の乱参加	
瀬来家			○	瀬来 政道	道太郎 道治(二)郎 道三郎	山崎隊		9	26	1869	明治2年4月17日	山田村 函館戦争福山折戸の役戦死・渡島国杉戸台場	桧山藩国神社・永源山	[註4][註5][註8] [山崎隊日記]
善宗寺			①	明西	＊五十香川信盛	政所山善宗寺開山		大内		1451	宝徳3年2月2日	富田政所 東関相州五十香川氏の英傑		＊[新南陽市史] [防長寺社由来]
			②	教念		政所山善宗寺二世		大内		1500	明応9年7月20日	富田政所		[防長寺社由来]
			③	専性		政所山善宗寺三世		毛利		1572	元亀3年10月27日	富田政所 山弓政所山田緒、三代専性の代焼失		[防長寺社由来]
			④	性教		政所山善宗寺四世		1		1640	寛永17年9月17日	富田政所		[防長寺社由来]
			⑤	順念		政所山善宗寺五世		1		1641	寛永18年3月6日	富田政所		[防長寺社由来]
			⑥	順真		政所山善宗寺六世		~4		1719	享保4年8月20日	富田政所	善宗寺	[防長寺社由来]
			⑦	達空	和南	政所山善宗寺七世						富田政所		[防長寺社由来]
			⑧	知栄		政所山善宗寺八世						富田政所		[防長寺社由来]
			⑨	正順		政所山善宗寺九世						富田政所		[防長寺社由来]

以下『新南陽市史』より

善宗寺			①	明西	五十香川信盛	政所山善宗寺開山(セイショサン)		大内		1451	＊宝徳3年2月2日	伊豆国/富田政所 東関相州五十香川氏の英傑/周防国各地に寺院建立		[新南陽市史] ＊[防長寺社由来]
			②	教念		政所山善宗寺二世		大内		1500	＊明応9年7月20日	富田政所		[新南陽市史] ＊[防長寺社由来]
			③	教善		政所山善宗寺三世						富田政所		[新南陽市史]
			④	教専		政所山善宗寺四世						富田政所		[新南陽市史]
			⑤	専性		政所山善宗寺五世		毛利		1572	＊元亀3年10月27日	富田政所 毛利輝元天正16年無縁寺と認める		[新南陽市史] ＊[防長寺社由来]
			⑥	性教		政所山善宗寺六世		~1		1640	＊寛永17年9月17日	富田政所	善宗寺	[新南陽市史] ＊[防長寺社由来]
			⑦	順念		政所山善宗寺七世		1		1641	＊寛永18年3月6日	富田政所		[新南陽市史] ＊[防長寺社由来]
			⑧	順真		政所山善宗寺八世		~4		1719	＊享保4年8月20日	富田政所 『善宗寺牒』正徳3年末寺130か寺		[新南陽市史] ＊[防長寺社由来]
			⑨	達空		政所山善宗寺九世						富田政所		[防長寺社由来]
			⑩	應順		政所山善宗寺十世						富田政所		[新南陽市史]
			⑪	正順		政所山善宗寺十一世						富田政所		[新南陽市史]
			⑫	空順		政所山善宗寺十二世						富田政所		[新南陽市史]
			⑬	慶順		政所山善宗寺十三世		7				富田政所 寛政6年本堂再建		[新南陽市史]
			⑭	大順		政所山善宗寺十四世						富田政所		[新南陽市史]
			⑮	圓順		政所山善宗寺十五世						富田政所		[新南陽市史]
			⑯	葆晃	香川葆晃 夢影道人 圓珠院釈葆晃和尚	政所山善宗寺十六世		9	64	1835 1898	天保6年 明治31年	新潟眞照寺生/京都/富田 西本願寺派要職/討幕派被投獄	善宗寺石碑	[新南陽市史][翰墨一架]
			⑰	則麿	香川則麿	政所山善宗寺十七世		—				富田政所 絵画/書道		[新南陽市史][翰墨一架]
			⑱	静爾		政所山善宗寺十八世		—				富田政所 徳中4期/東大東洋史/県立高校等校長/教育委員		[新南陽市史][徳高物語]
			⑲	隆成		政所山善宗寺十九世		—				富田政所		[新南陽市史]
			⑳	知行		政所山善宗寺二十世		—				富田政所 昭和37年本堂改築/大正10年山門再建		[新南陽市史]
善甫家	善甫郷左衛門		○	善甫 紋左衛門				—						[譜]
	善甫紋左衛門	嗣子	○	善甫 紋八				—						[譜]
	善甫紋八 富田村藤井荘左衛門女	二男	①	善甫 朝盈	喜左衛門	蔵本付	15	9	81	1857	安政4年3月11日	御奉公以前御家微賤召仕/天保12年出仕		[譜]
	内山武右衛門 徳山村河村瀬左衛門女	＊	②	善甫 速成	良右衛門 内山武兵衛吉品弟	蔵本付	15	9				安政4年家督		[譜][註4]
	善甫速成 善甫初代朝盈女	不明	③	善甫 盛臣 ☆	喜三	下士下等	15→4.7(M4)	9			(明治4年30歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
	善甫盛臣	嫡子	○	善甫 忠一郎				—			(明治4年2歳 分限帳)			
善甫家			①	善甫 虎三郎			1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	夜市村		

専理			○	専理		俳人		6						[註1P661]
												句集『うしろひも』に投句（宝暦12年）		
宗家断	某女		①	宗 与兵衛		中小姓	30	1~3						[譜]
										1695	元禄8年8月29日	処宝年中出仕		
	宗与兵衛 某女	長男	②	宗 与右衛門		中小姓	30	~3						[譜]
											某年[譜]	某年家督/元禄4年不埒ニ付知行召上断絶		
	宗与兵衛 某女	＊二男	③	宗 政経	勘兵衛 吉太郎	中小姓	30	3~5						[譜][註4]
										1730	享保15年10月16日	元禄4年与兵衛老身ニ付家督/大阪(目付役)にて死亡		
	和田某	＊	④	宗 政英	友右衛門 和田小太郎弟	馬廻/＊作事奉行	50後三扶持	5~7				馬場西町東1番		[譜]
										1770	明和7年12月19日	享保15年12月26日家督/宝暦3年奉行役中不埒ニ付禄降格		＊[防長寺社由来]
	宗政英 宗政経長女		退身	宗 政盈	勘兵衛 千槌 （妻玉井弥右衛門方敬女）	中小姓	25	5				元文5年御雇出仕/宝暦3年政英政盈親子御咎め		[譜]
	宗友右衛門正英 [大家家譜録]	＊長男	一	宗 某	→大家公春	馬廻	50	5				享保12年養子/宝暦6年咎御暇		[譜]
	宗友右衛門正英 [杉原家譜録]	＊二男	一	宗 某	→杉原重誠	馬廻	80	5		1754	宝暦4年2月9日	杉原重辰重病に付生存中養子/元文4年杉原家家督		[譜]
	宗友右衛門正英 [杉原家譜録]	＊三男	一	杉原 勇左衛門	→杉原勇左衛門	馬廻	80	5				杉原重誠重病に付生存中養子/宝暦元年家督同6年永暇		[譜]
	宗政英 [宗家譜録] 宗政経長女	嫡子	⑤	宗 百合槌		中小姓	25	7		1771	明和8年9月11日	[宗家譜録不明部分あり]		[譜]
	宗政英 [宗家譜録] 宗政経長女	嫡子	⑥	宗 政直	与兵衛 為助 宗百合槌弟	中小姓	25	7	39	1754 1792	年令から逆算 寛政4年2月7日	明和8年養子同9年4月26日家督		[譜]
	谷野直貞 徳山町中山善左衛門宗寿妹	＊三男	⑦	宗 忠保	右仲 与十郎	中小姓	25	7~8				寛政6年5月20日家督/文化5年譜録作製		[譜][註4]
	宗政直 鹿野村医師神田氏女	＊長男	⑧	宗 忠信	新四郎 延美	中小姓	25	8				文化12年譜録提出		[譜]
	増見弥次郎道経 井村宗哲庸保女	＊二男	断絶	宗 政信	孝次郎	中小姓	25	8~9				文政2年9月20日養子後断絶		[譜]
曽根屋				曽根屋 平吉		町人		9				富海町 牡蠣灰焼立連上銀取立御算用一紙（嘉永2年）		[註4]

徳山藩家臣&徳山藩を支えた人たちとその一族

各家はアイウエオ順。
徳山藩家臣以外にも徳山藩に関わりがある人々、また、その子孫等姻族を記載している。
「続柄」は「嫡子」「嫡男」は実子。「嗣子」は家督を継いだ者であるが、実父母、養子、続柄等が不明な場合に記した。養子の場合、続柄に＊と記入し、実父母を記入した。
「嫡子」「嫡男」は実子の意味であるが、『士族人員録(人員録)』、『旧士族分限帳(分限帳)』による場合はこれに限らない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』による続柄は、実子、養子、嫡子省略（例・長男が早逝すれば二男を長男にする）等、必ずしも正確ではない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』、『徳山医師会史』による家督順は、出自が不明の為、便宜上①、②…と記している。
「退身」「中継」「断絶」「永暇」は中には同意味の場合もあるが原則、各家譜録の記載に従った。
「順」の項の○数字は徳山藩士として家督を継いだ順(藩に提出)で、必ずしも一族の家督順ではない。
「姓名」の名前の後の☆印は慶応元年～4年『徳山藩有志血盟書』に血判した藩士である。総勢230名（変名、養子等により重複あり）。
「字・幼名・号他」の項の→は養子で別の項に説明がある場合に記した。逆の場合は→は記してない。その場合は実父から旧名で検索してほしいが、藩士以外は不明の場合が多い。
「字・幼名・号他」の項の→は養子以外に変名、改名等でも別の項に記した。
「断絶」とは様々な理由で藩士ではなくなったことをさし、必ずしも一族が途絶えたことではない。また「再興」は主に藩士に再度召し抱えられたことである。
「給禄」の洋数字は石数、漢数字はその他の禄である。また、位階等叙勲も記している場合がある。
「藩主」の数字は仕えた藩主の歴代数である。但し、生没年により境目は不明瞭な部分がある。
「享年」年令は主に毛利家譜録記載に拠る為、数え年にて記載した。
「生、没年月日」確認の為、年令から逆算して記した場合がある。西暦は単純に和暦に合わせている。（旧暦はずれがあり西暦が違う場合がある）和暦は原則、改元の月日を基準にしている。
「生、没年月日」の項に、分限帳等で年齢が記してある場合()で当時の年令を記した。
「墓地」の項の()は墓碑の最新確認年度である。
各家譜録の記載に明らかな間違いや、当時の提出者により差異があった場合、当方の判断により訂正した。
□は不明文字。
記入事項が多い場合は、必ずしも決められた項目に記していない。
一部御存命の方を記載しているが、承諾を得たものである。

出典
[譜] 『徳山毛利家譜録』を基本に下記資料から追補
[註1] 『徳山市史 上』 徳山市史編纂委員会 昭和59年1月31日発行
[註2] 『徳山市史 下』 徳山市史編纂委員会 昭和60年3月30日発行
[註3] 『徳山市史史料 上』 徳山市史編纂委員会 昭和39年11月30日発行
[註4] 『徳山市史史料 中』 徳山市史編纂委員会 昭和41年3月3日発行
[註5] 『徳山市史史料 下』 徳山市史編纂委員会 昭和43年3月20日発行
[註6] 『下松市史 通史編』 下松市史編纂委員会 平成元年11月3日発行
[註7] 『新南陽市史』 新南陽市史編纂委員会 昭和60年11月1日発行
[註8] 『徳山名士墳墓掃苔録』 兼崎茂樹著 大正8年6月発行
[註9] 『徳山の文化に貢献せし人々』 梅原芳堂著 昭和40年3月1日発行
[註10] 『防長人物百年史』 末弘錦江 昭和42年1月1日再版発行
[註11] 『増補 近世防長人名辞典』 吉田祥朔 昭和51年6月1日発行
[註12] 『近代防長人物史 天地人』 井関九郎著 大正6年12月25日発行
[註13] 『徳山医師会史』
[註14] 『徳山市史年表』 徳山市史編纂委員会 昭和44年12月25日発行
[註15] 『増補 防長人物誌』 近藤清石 昭和59年6月25日発行
[註16] 『橙堂遺稿補遺』 兼崎茂樹著 大正6年8月15日発行
『都濃郡誌 全』 山口県都濃郡役所 大正13年5月25日発行
士士其他人員録 明治3年
士族人員録 中士第一～第四 明治3年
士族人員録 下士第一～第三 及び在職中 明治3年
準士人員録 附上士家来 明治3年
士族人員録 御船手組 明治3年
士族人員録 河合組上等及び下等 明治3年
士族人員録 岩崎幾太郎組上等及び下等 明治3年

士族人員録　卒族外、御手廻組、御厩組及び、政務局支配　明治3年
旧徳山士族分限帳　明治4年、5年
各家家譜及び徳山毛利家各種文書（山口県文書館蔵）
その他、参考した文献は『 』＊で記した。